

実証実験実施結果（中間報告）

1. 乗車実績

集計期間：平成22年12月1日～平成23年2月6日（全68日間）

①平成22年12月

日付	曜日	天気	回数	輸送人員	1回あたり	備考
1	水	晴	40	350名	9名	運行開始
2	木	晴	40	291名	7名	
3	金	晴	40	339名	8名	
4	土	晴	34	437名	13名	那覇マラソン受付
5	日	晴	34	448名	13名	那覇マラソン
6	月	晴	40	366名	9名	
7	火	曇り	40	357名	9名	
8	水	晴	40	377名	9名	
9	木	曇り	40	332名	8名	
10	金	晴	40	410名	10名	
11	土	晴	34	425名	12名	
12	日	晴	34	409名	12名	
13	月	曇り	40	400名	10名	
14	火	曇り	40	421名	11名	
15	水	曇り	40	477名	12名	
16	木	雨	40	364名	9名	
17	金	曇り	40	459名	11名	
18	土	晴	34	362名	11名	
19	日	晴	34	375名	11名	
20	月	曇り	40	405名	10名	
21	火	曇り	40	445名	11名	
22	水	曇り	40	507名	13名	
23	木	晴	34	437名	13名	（祝日）天皇誕生日
24	金	曇り	40	395名	10名	県立学校終業式
25	土	雨	34	409名	12名	クリスマス
26	日	曇り	34	244名	7名	
27	月	曇り	40	580名	15名	
28	火	晴	40	530名	13名	官公庁等仕事納め
29	水	晴	40	401名	10名	
30	木	雨	40	305名	8名	
31	金	晴	34	234名	7名	祝日運行
12月計			1180	12292名	—	
12月平均				397名	—	

※輸送人員は運賃収入÷200円による単純試算である。

②平成23年1月

日付	曜日	天気	回数	輸送人員	1回あたり	備考
1	土	曇り	34	174名	5名	元日
2	日	曇り	34	255名	8名	
3	月	曇り	34	426名	13名	
4	火	曇り	40	470名	12名	官公庁等仕事始め
5	水	晴	40	416名	10名	2学期制学校始め
6	木	雨	40	379名	9名	3学期制学校始め
7	金	曇り	40	406名	10名	
8	土	曇り	34	400名	12名	
9	日	雨	34	352名	10名	
10	月	曇り	34	346名	10名	成人の日
11	火	曇り	40	414名	10名	
12	水	曇り	40	381名	10名	
13	木	曇り	40	406名	10名	
14	金	曇り	40	412名	10名	
15	土	曇り	34	331名	10名	
16	日	曇り	34	361名	11名	am不発弾処理（内間3丁目）
17	月	曇り	40	378名	9名	
18	火	晴	40	405名	10名	
19	水	晴	40	372名	9名	
20	木	晴	40	411名	10名	
21	金	雨	40	401名	10名	
22	土	晴	34	377名	11名	
23	日	晴	34	375名	11名	
24	月	曇り	40	419名	10名	
25	火	曇り	40	400名	10名	
26	水	曇り	40	409名	10名	
27	木	曇り	40	436名	11名	
28	金	雨	40	414名	10名	
29	土	曇り	34	383名	11名	
30	日	曇り	34	350名	10名	
31	月	曇り	40	436名	11名	
1月計			1168	11893名	—	
1月平均				384名	—	

※輸送人員は運賃収入÷200円による単純試算である。

③平成23年2月

日付	曜日	天気	回数	輸送人員	1回あたり	備考
1	火	晴	40	436名	11名	プロ野球キャンプイン
2	水	曇り	40	349名	9名	
3	木	曇り	40	404名	10名	
4	金	曇り	40	398名	10名	
5	土	曇り	34	560名	16名	てだこウオーク2011、1軍キャンプ休
6	日	晴	34	423名	12名	てだこウオーク2011、NHKのど自慢
2月計			228	2570名	—	
2月平均				428名	—	

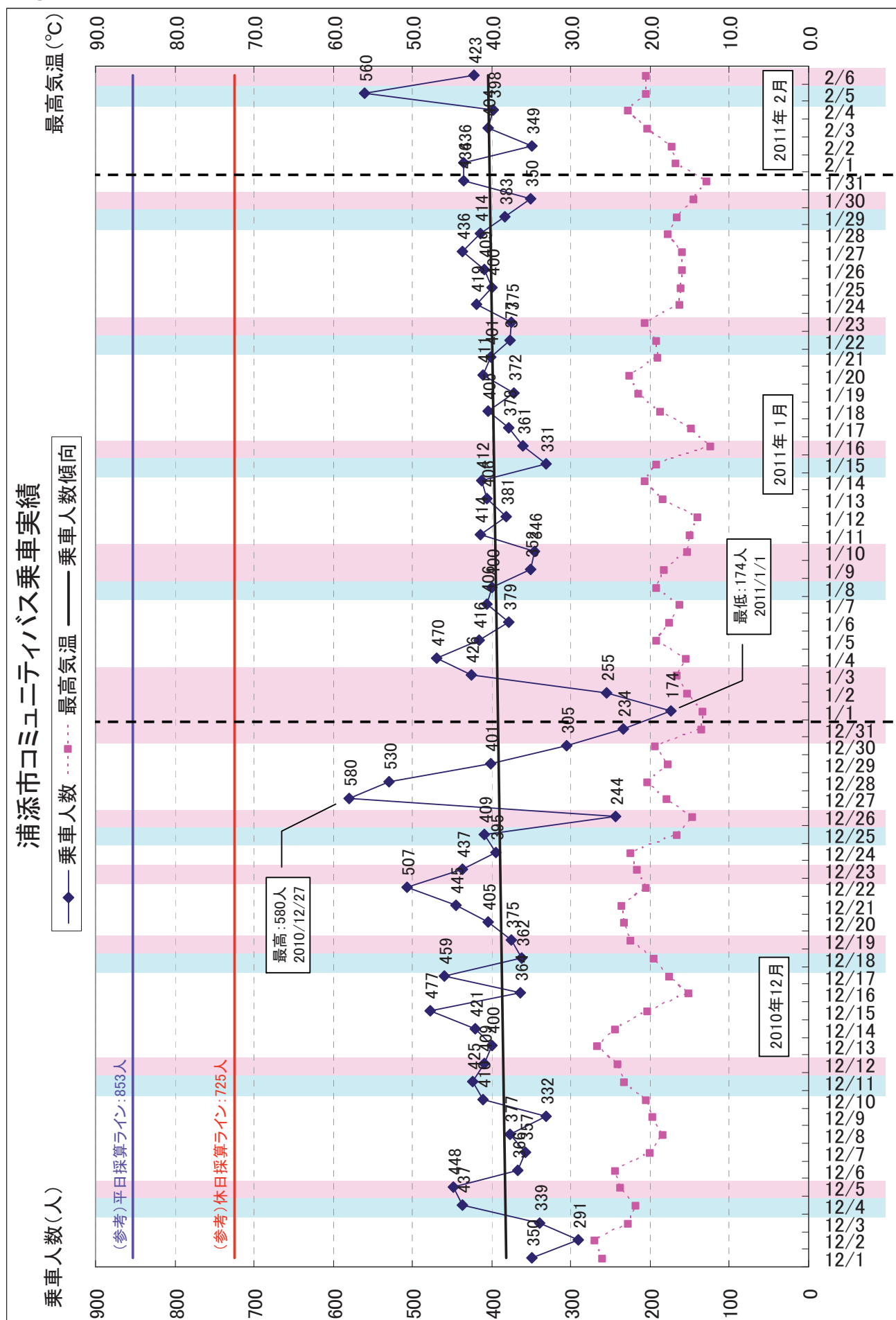
※輸送人員は運賃収入÷200円による単純試算である。

④期間計（平成22年12月1日～平成23年2月6日）

	回数	輸送人員	1回あたり	備考
期間合計	2576	26755名		運行日数：68日
期間平均		393名/日	10名/回	
平日平均		406名/日	10名/回	最大：580人 最低：291人
土・日・祝日平均		371名/日	11名/回	最大：560人 最低：174人

※輸送人員は運賃収入÷200円による単純試算である。

⑤乗車実績推移グラフ（平成22年12月1日～平成23年2月6日）



※参考

表 1 運行コスト試算

単位：円/km

費目	平成21年度実績	備考
人件費	113.46	定年者再雇用などで40%減とした場合：68.08
燃料油脂費	31.52	
車両修繕費	15.30	
車両償却費	6.63	
利子	2.25	
諸経費	22.23	
適正利潤	11.48	経費の6%で設定
計	202.87	

参考「平成 21 年度ブロック別実車走行キロ当たりの原価」国土交通省

表 2 収支均衡に必要な乗客数の試算

		平日	休日	単位	備 考
支 出	運行本数	40	34	往復/日	
	運行距離	21	21	km/往復	
	運送原価	203	203	円/km	表2より
	運行コスト	170,520	144,942	円/日	運行本数×運行距離×運送原価
収 入	運賃	200	200	円	
	乗客数	853	725	人/日	収支均衡のために必要な乗客数
	運賃収入	170,520	144,942	円	
平均乗客数		21.3	21.3	人/便	

※参考 人件費 40%減とした場合の必要な乗客数 平日：693 人/日 休日：589 人/日

2. OD調査集計結果

(1) 平日

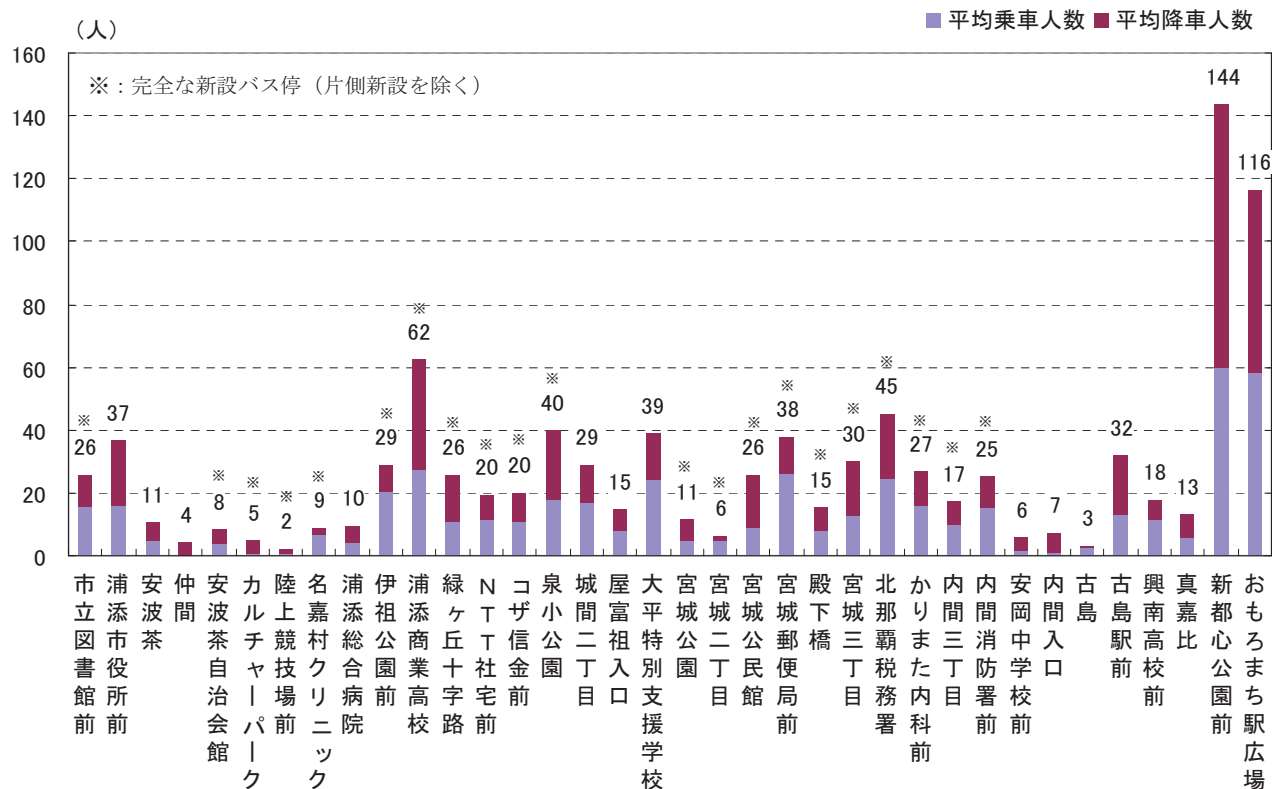
単位：人

調査日	全乗客数	大人	小人	身障者
平成22年12月21日（火）	503	418（83.1%）	80（15.9%）	5（1.0%）
12月22日（水）	544	499（91.7%）	22（4.0%）	23（4.2%）
平成23年01月19日（水）	406	401（98.8%）	3（0.7%）	2（0.5%）
平均値	484	439（90.7%）	35（7.2%）	10（2.1%）

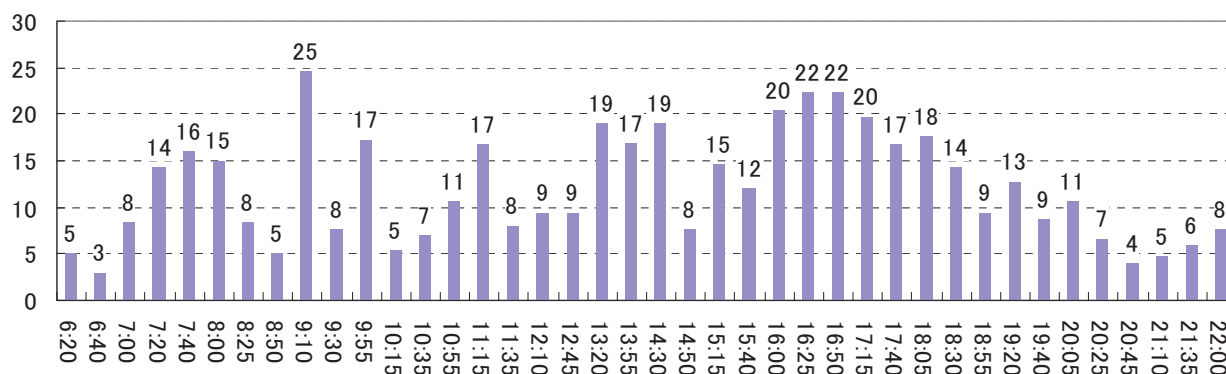
※平成22年12月21日・22日の調査はバス事業者による自主調査によるもの

※平成23年1月19日の男女比 男性119人(29.3%)：女性287人(70.7%)

①バス停別乗降客数（平日3日間平均）



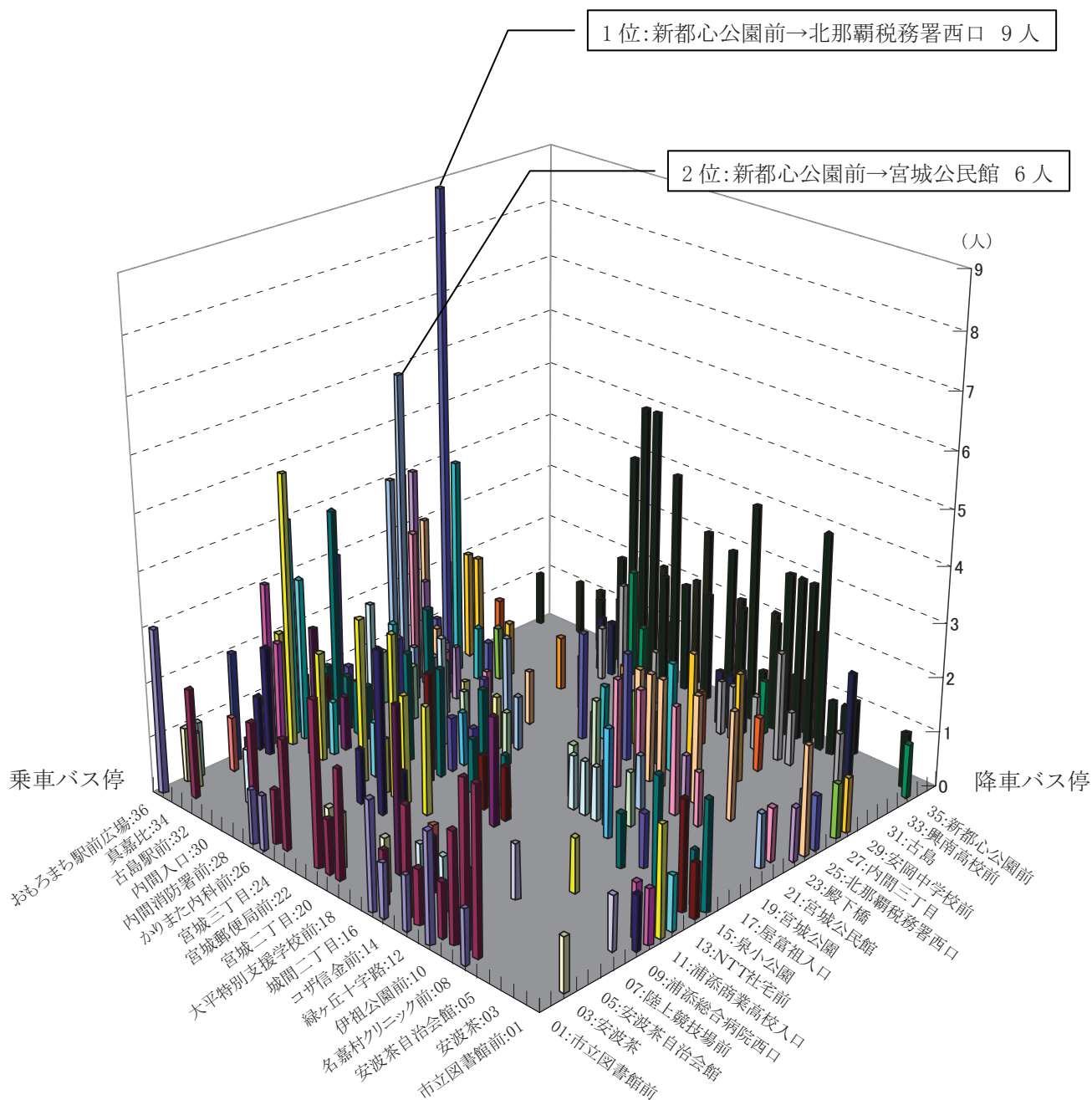
②出発時間別乗車人数（平日3日間平均）



③平日OD表（平成23年1月19日 水曜日）

[illegible]

④平日ODグラフ（平成 23 年 1 月 19 日 水曜日）



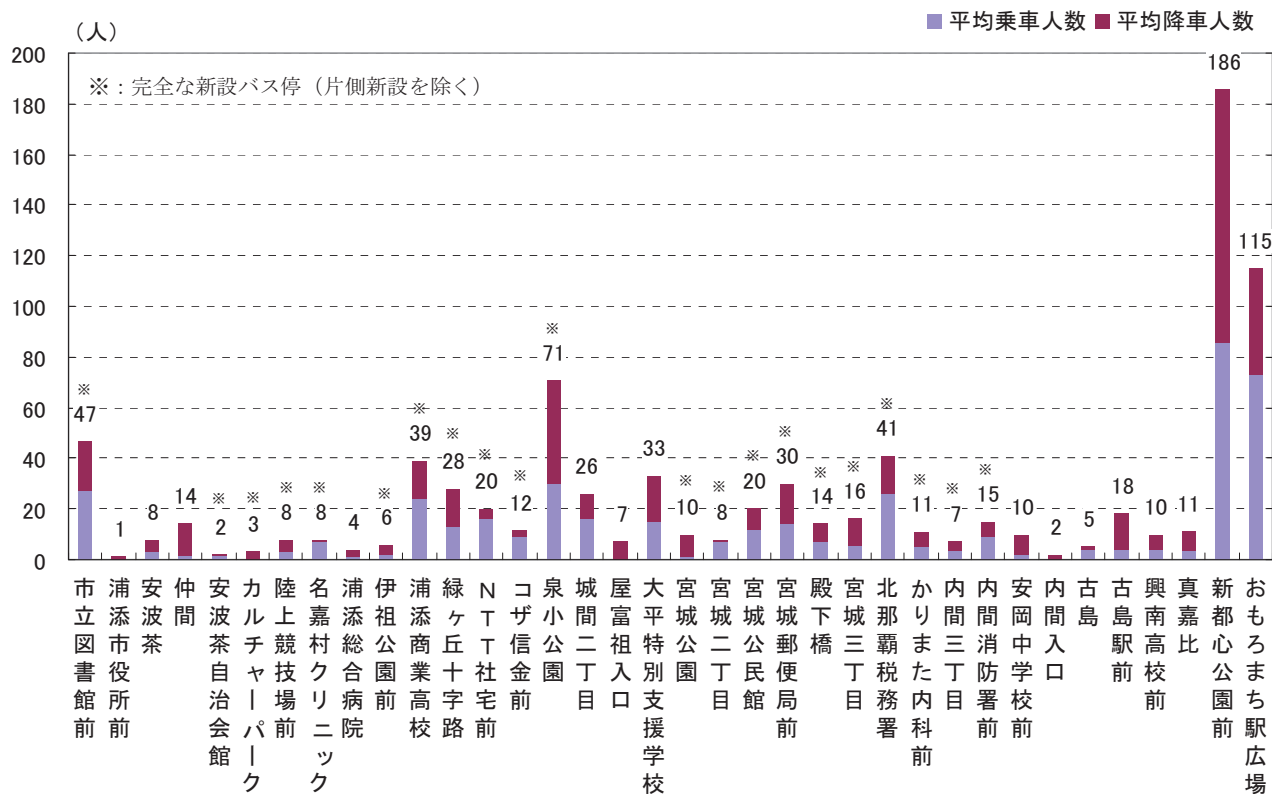
(2) 休日

単位：人

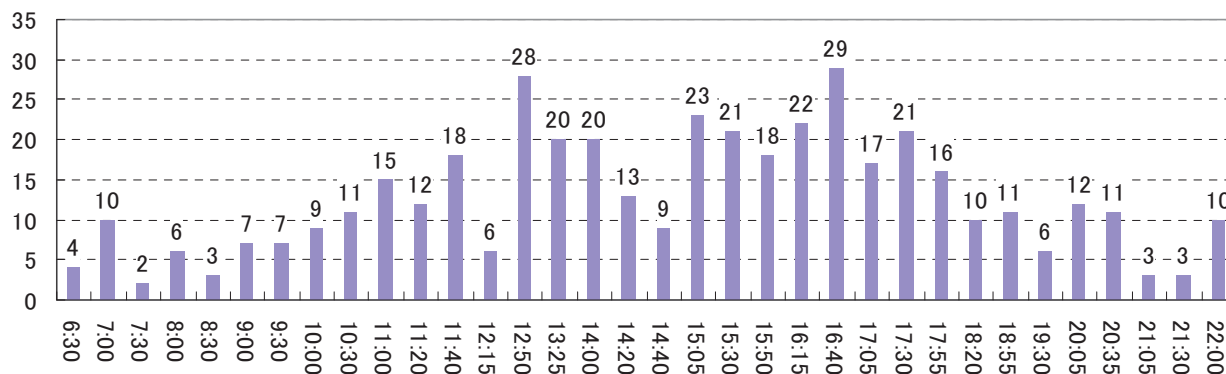
調査日	全乗客数	大人	小人	身障者
平成23年01月23日（日）	433	349 (80.6%)	77 (17.8%)	4 (0.9%)

※平成23年1月19日の男女比 男性143人(33.0%)：女性290人(67.0%)

①バス停別乗降客数（休日1日間）



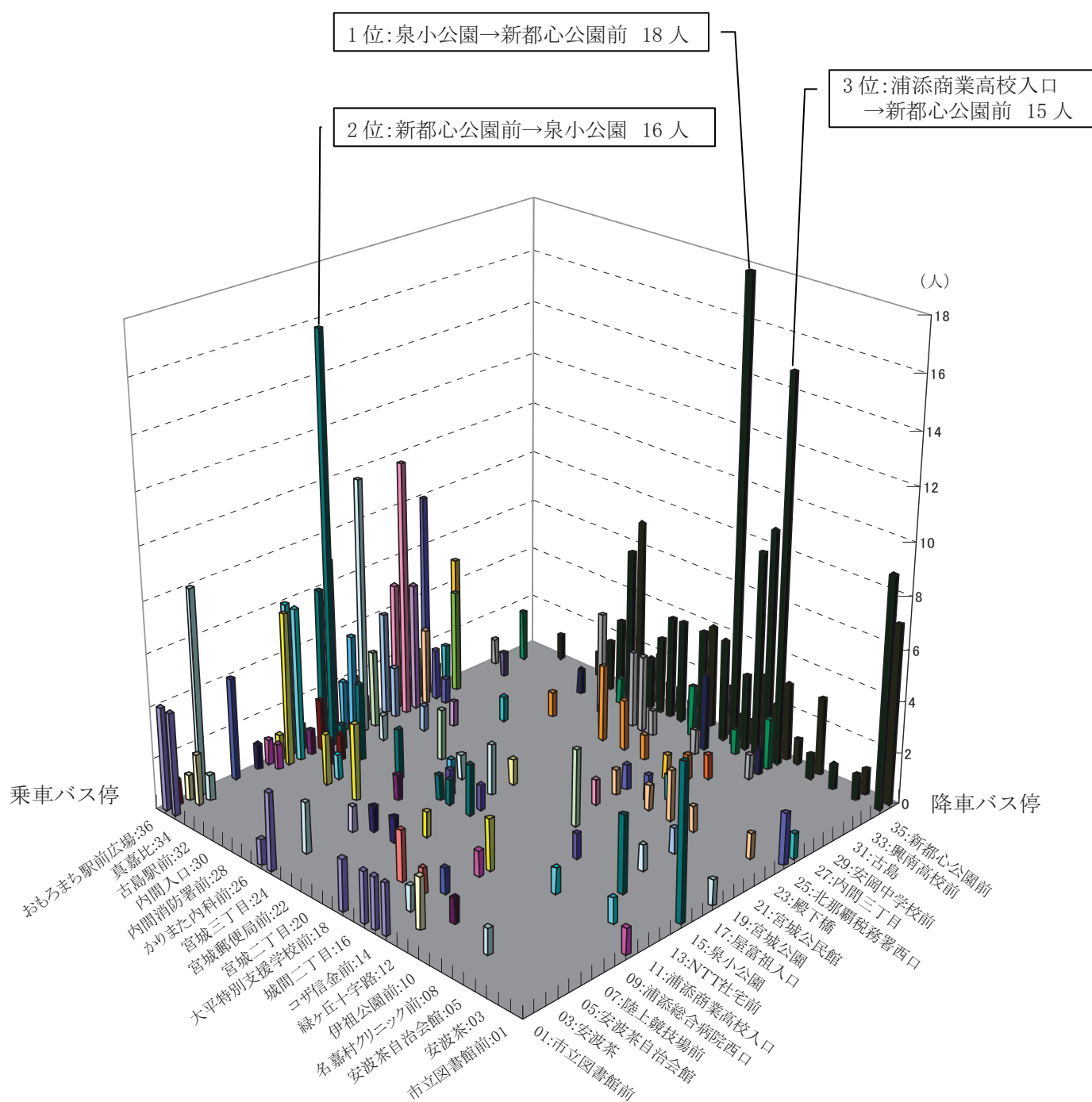
②出発時間別乗車人数（休日1日間）



③休日OD表（平成23年1月23日 日曜日）

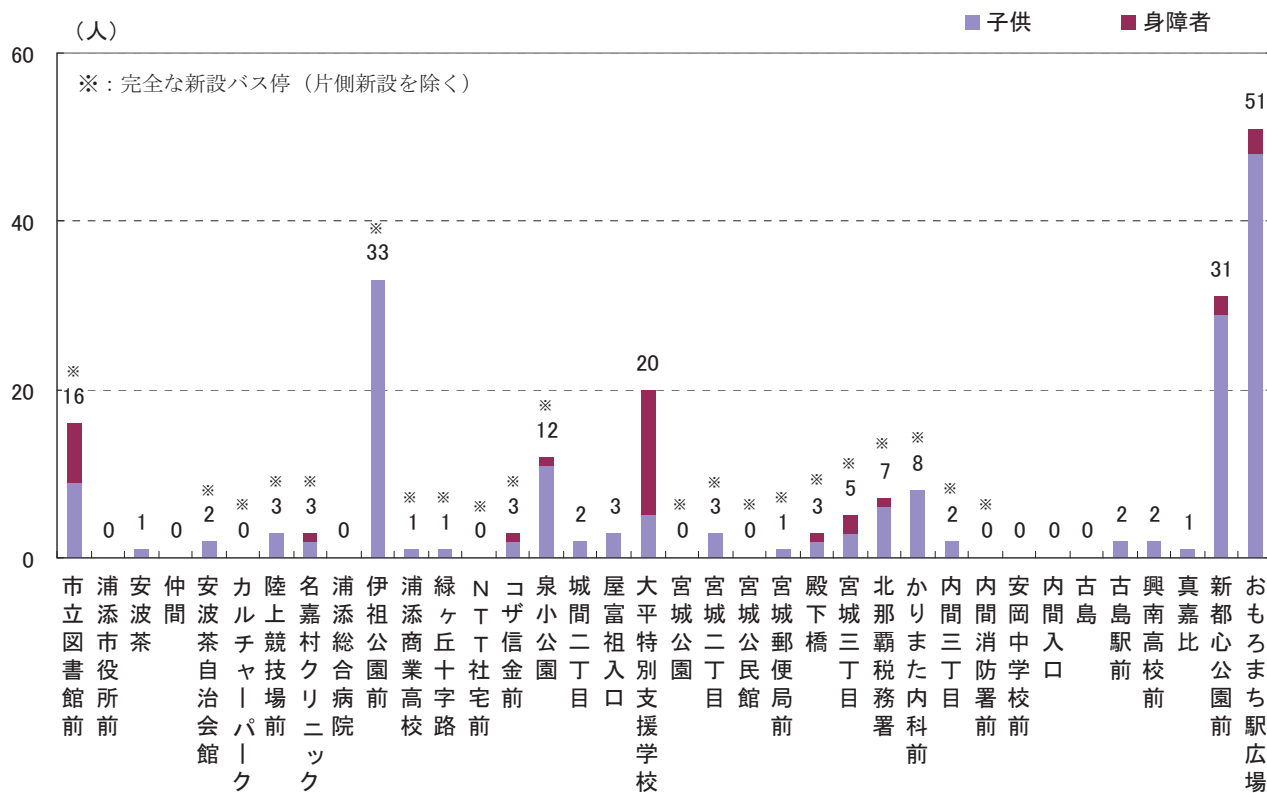
[illegible]

④休日ODグラフ（平成 23 年 1 月 23 日 日曜日）



※ 参考

バス停別乗車人数（子供・身障者） 平休4日間合計



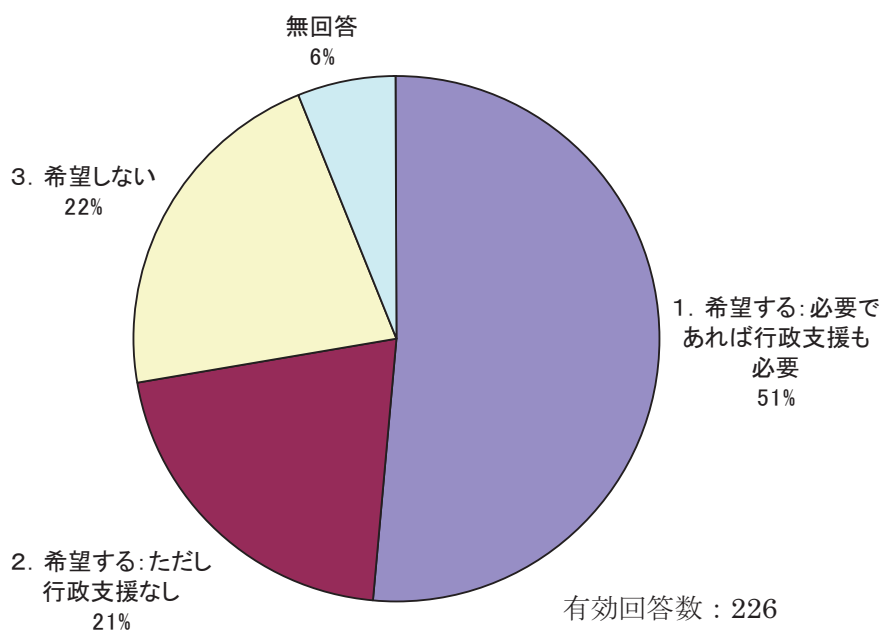
3. アンケート調査集計結果

(1) 沿線住民アンケート

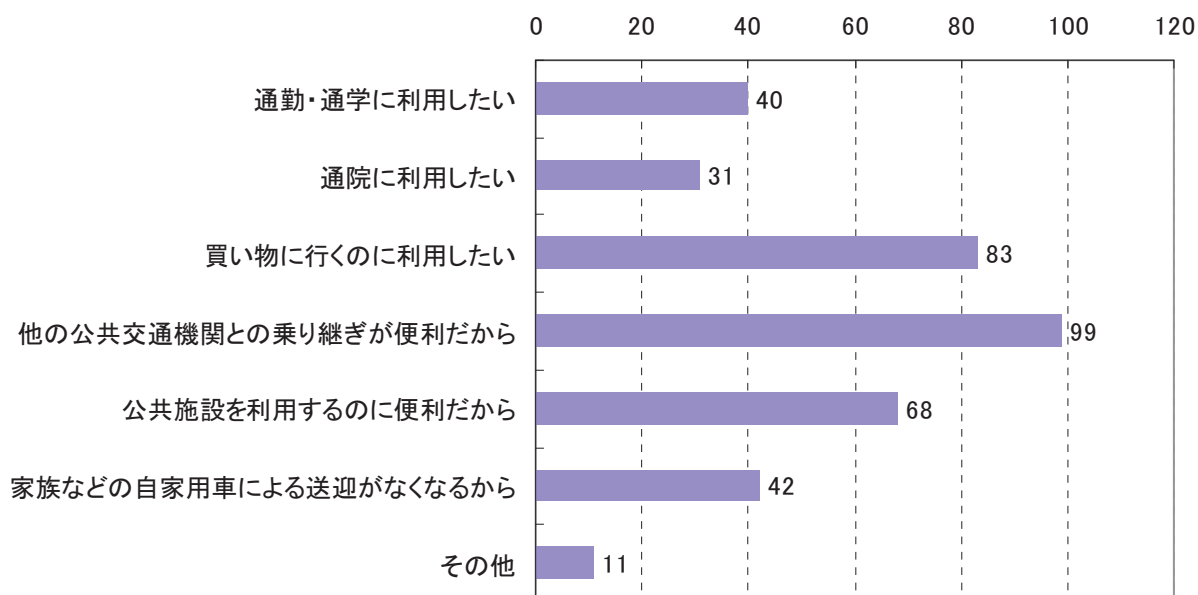
①調査期間	平成23年1月14日～
②調査方法	郵送配布・回収 ※配布先は郵便局による無作為抽出
③調査対象地区	仲間(字仲間・仲間1～3丁目)、安波茶(安波茶1～3丁目)、伊祖(伊祖1～5丁目) 牧港(牧港1～2丁目)、港川1丁目、城間(城間1～4丁目)、 屋富祖(屋富祖1～2丁目)、宮城(宮城1～6丁目)、仲西1丁目、勢理客1丁目、 内間(内間1～5丁目)、太平(字太平、太平1～3丁目)
④対象地域人口	世帯数：21,960 人 口：55,398 ※平成22年12月末時点
⑤配布数	世帯票：2,200 個人票：4,400
⑥回収結果	<u>世帯票：226</u> <u>個人票：334</u> ※平成23年1月30日時点

① 世帯票

世帯Q1：お住まいの地域で民間路線バス事業として本コミュニティバスの本格運行を希望しますか。



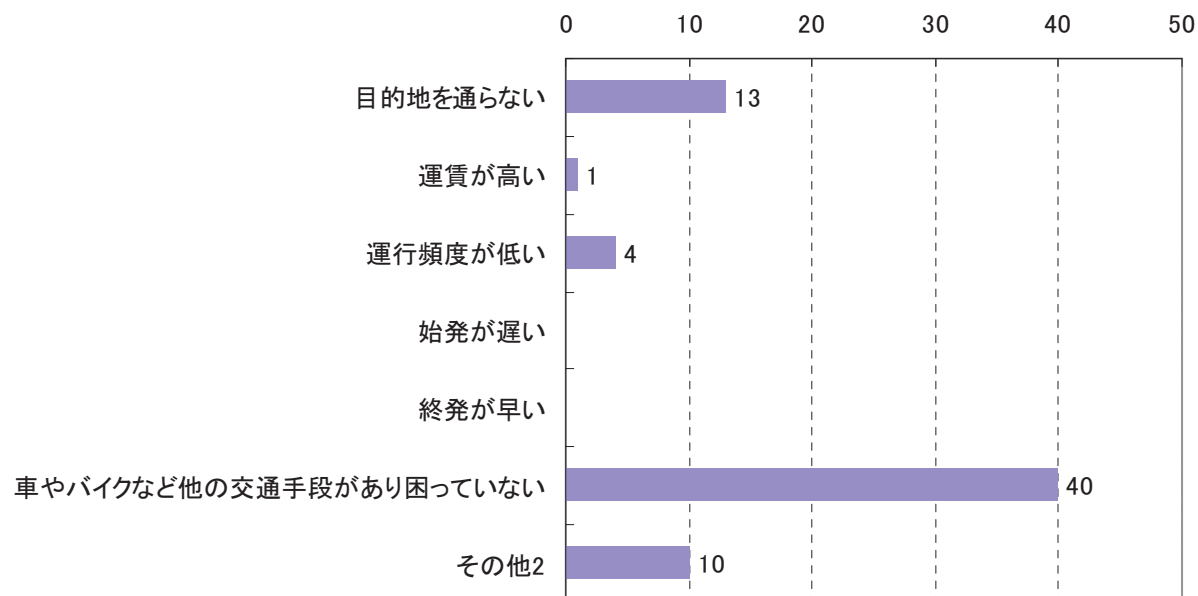
世帯Q2：コミュニティバスの本格運行を希望する理由（複数回答）



「その他」回答における代表的な意見（原文のまま掲載）

メインの道路が利用できなくて困っている方の事を考えて(老人や障害者など)
高齢者や学生などの移動手段が増えるから
坂道の多い住宅街に住んでいる。お年寄りの方には便利だと思う。
私達家族は利用しないが、運行しているバスをみると、乗客が結構いるので、地域として必要と思う。
住宅地内の内部まで入り、バス利用が不便な地域では利用価値があると思うから

世帯Q3：コミュニティバスの本格運行を希望しない理由（複数回答）



「その他2」回答における代表的な意見（原文のまま掲載）

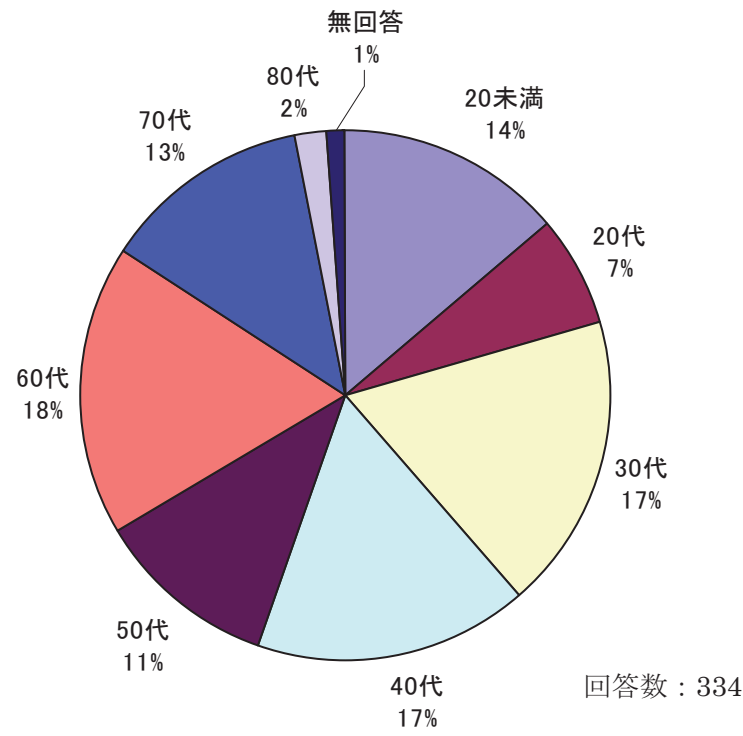
乗っている人が少ないので、税金の無駄に感じた。実施するなら小さいバスにしてください。古島駅に接続しているが、遠回りすぎる。
病気になって体が不自由になれば利用すると思います。現在は利用しないが、高齢になると利用すると思います。市役所とか図書館近郊を通行するのはよいと思うが、税金を多額にしようしないで運行できるように。
伊祖地域あるいは自宅近くを通らないから

世帯Q4：自由意見抜粋（原文のまま掲載）

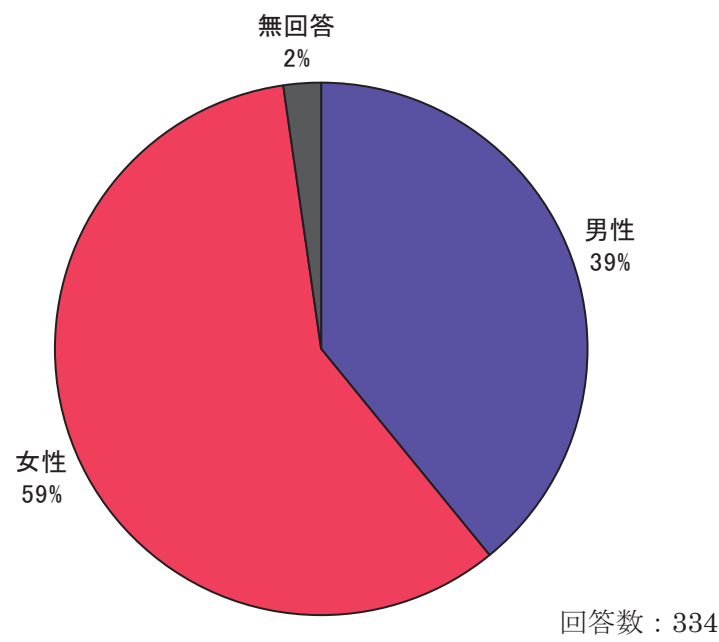
コミュニティバスは市民の皆さんが大変、色んな面で助かってます。
運行するなら、モレールの運行時間にも合わせて欲しい。（飲んだ帰りとか、モレール＋コミュニティバスを利用出来る）
既に路線バスがあるではないか。無駄な事と思う。
58号線バイパスまでの距離が遠いので是非、コミュニティバスが必要です。
ぜひこのまま運行を続けて欲しいです。中学の娘がいままで通えなかったクラブ活動が行けるようになり(近くにバス停がなく時間に間に合わなかった)大変喜んでおります。
コミュニティバスを利用する機会はありませんが、(自家用車があるため)必要な方が多いのであれば、バス運行はあってもいいと思います。
もう少し小さなバスでも良い気がします。あと、運行地域を拡大して欲しい。
バス停間の距離が離れている区間を埋めるバス停が欲しい。浦城小学校入り口ー屋富祖入り口
全ての学校(小中高)、病院、スーパーを通るルートにしたら良いと思う。
目的地にいくまでにあちこちまわるので歩いた方が早い。時間がかかる。路線の近くに住んでいない、高齢者や車のない人にとってはコミュニティバスは有効だと思う。
学校に通学する時、利用しています。那覇国際高校の近くを通ってくれと、ありがたいです。
伊祖あたりも通っていただければありがたいです。
現行バスの発着時間の表示はなされているか、その通り運行されていない。5分以内程度の差ならよいが、時によりその次の時間になったり又は発車時間前に既に出発していた事などがある。
乗っている人が少ないので、税金の無駄に感じた。実施するなら小さいバスにしてください。古島駅に接続しているが、遠回りすぎる。
地域社会の需要を正確に把握した上で実施して欲しい。
現在はまだ使用頻度があまりなさそうだが、これから先 あると便利かなと思う。
現在は自家用車を利用しているが、運転が出来なくなった時の事を考えると、このような交通システムが整備されていると心強い
土日でも無料になりませんか。起点終点でなく、循環バスになりませんか(大平IC経由でパイプラインへ)
今回のアンケートに路線図、時刻表が添付されていたので、今後バス利用が便利になると考えます。広報が利用拡大の上で大切だと思います。
県外、市外に住む親戚、友人などが気軽に浦添に来れるようになり、便利になり助かってます。
財政上の問題があると思われますが、多少の赤字であれば福祉上の利益ありと考えます。
現状、浦添市内を移動するには自家用車が主です。これはバスなど公共交通機関が不足しており、自家用車に頼らざるを得ません。パイプラインなどの慢性的な渋滞解消の為に、市内のコミュニティバスは必要だと思います。コミュニティバスが増えると、必然としてちよっとそこまでといった際の自動車使用が減り、浦添市が勧める脱メタボにも効果があると思います。コミュニティバスの拡充により、タクシーとの競合が問題になるかもしれませんが、交通機関の棲み分けが進み、必要に応じて使い分ける事で年金生活者など何度もタクシーを利用することが困難な市民に喜ばれるのではないのでしょうか。今回の社会実験ではバス停の新設が行われています。市民がバスを利用する場合、目的地に近いところにバス停があるかどうかに関係あると思います。「スーパー近くにバス停がない」「病院の近くにない」「モノレールの近くにない」などです。市民がよく利用する場所にもっとバス停を新設し、コミュニティバスが巡回するようにすれば、利便性が向上し利用が増え経営的にも成立すると考えます。以上、今日の実験路線以外のルートの拡充を希望します。
路面電車を導入してほしい
ずっと行政支援に頼るのではなく、一定期間の支援で運営し、その都度見直ししていく。大変だと思いますが。
往復乗ると400円はちょっと高い気がします。
高齢者の移動手段が徒歩のみの方にとってはコミュニティバスはとてもよいと思います。
回数券、定期券が利用出来ればすぐ利用したい。
軌道にのるには半年は必要と思われる。小学生～高校生までの生徒に対するPRが必要と思われる。
各地域を回る為、寄り道が多く時間がかかる。
70歳を過ぎ、運転があぶなくなってくる。高齢者が増えてくる昨今、やっぱり外出するのにバスは必要だと思います。ちよっと出かける時にバスが走っていれば安心して出かけられます。家にじっとしていたり、若い人たちに頼らなくても楽しい日々が送れると思います。
なぜ100円で社会実験しないのか？200円では現状の様に利用者が少ないことは実験しなくてもわかる事です。それとも失敗させたいのですか？
バスはもっと小型(15~20名)でよい。運行間隔をもっと短く。
子供が小さいので民間バスでは停留所が遠くだっただけで行くのが嫌だと思っていたところ、コミュニティバスの停留所が家の近くで便利です。今後は通勤にも利用したいです。続けてください。
時刻表より遅れるケースが多々あるので、時刻表の見直しが必要と思われる。
採算が合うなら是非本格運行してほしい150円であればもっと利用したい。
運行ルートが那覇国際高校付近も通って欲しい。

② 個人票

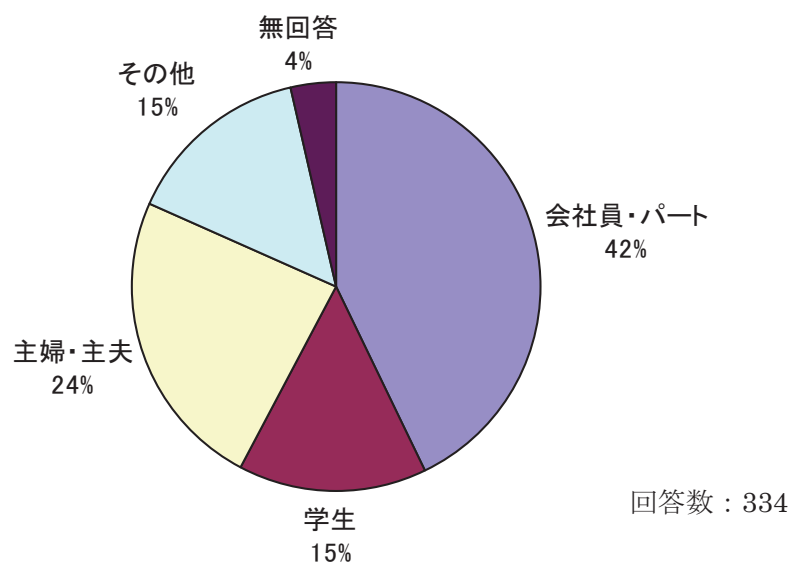
個人Q 1：年齢



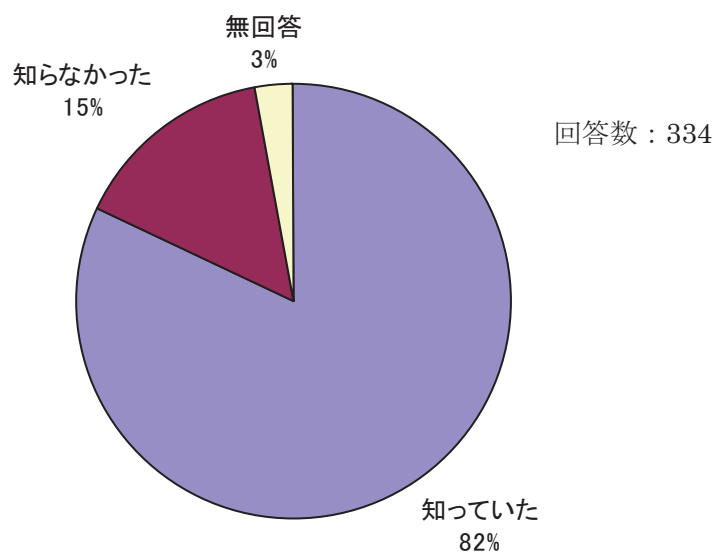
個人Q 2：性別



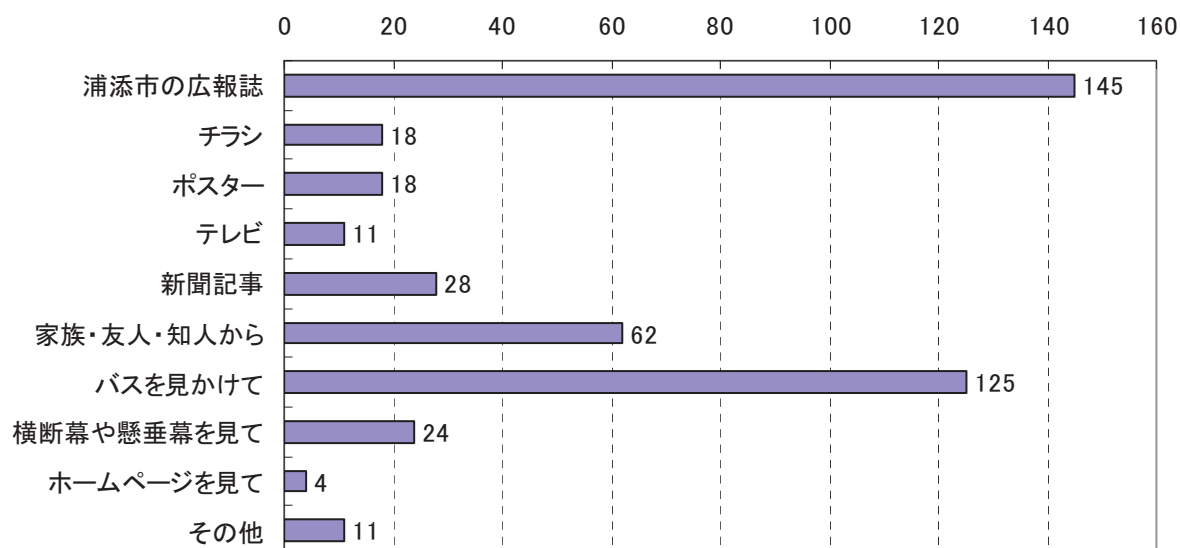
個人Q 3：職業



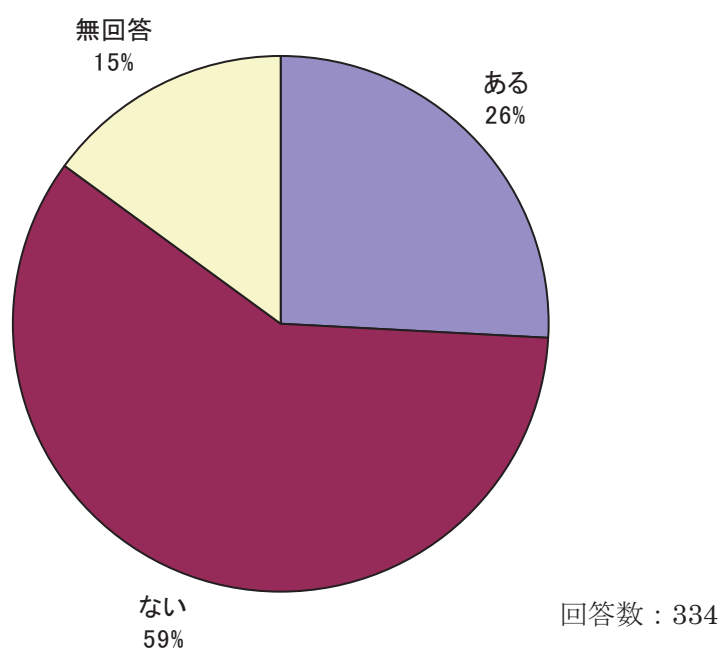
個人Q 4：本コミュニティバスの運行を知っていましたか？



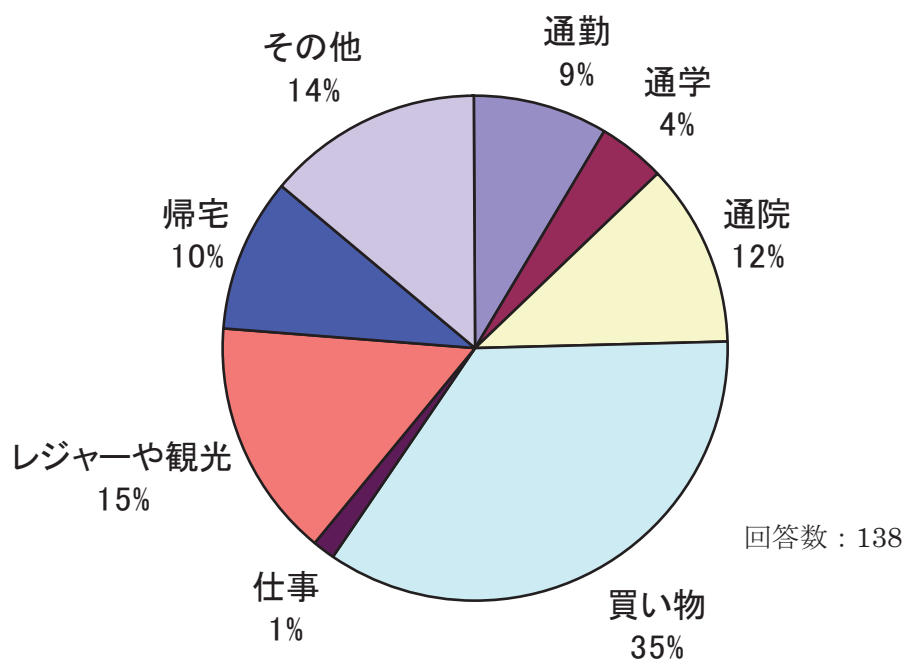
個人Q 5：本コミュニティバスのことを何で知りましたか？（複数回答）



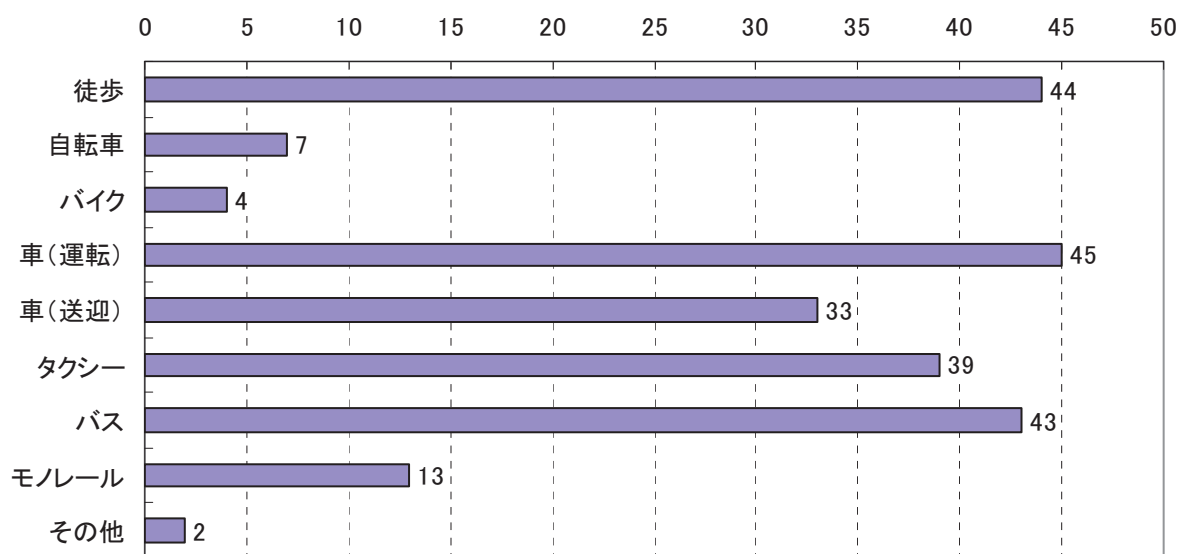
個人Q 6：本コミュニティバスを利用したことがありますか？



個人Q 7：利用したことがある方へ。主な利用目的は？

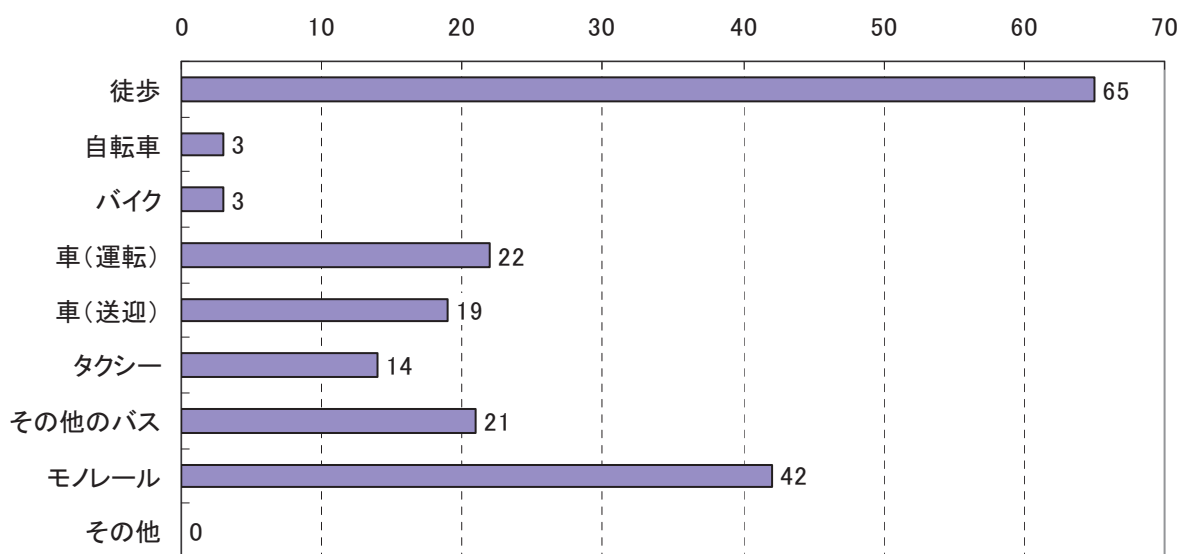


個人Q 8：このバスを利用する前は、どのような移動手段を利用していましたか？



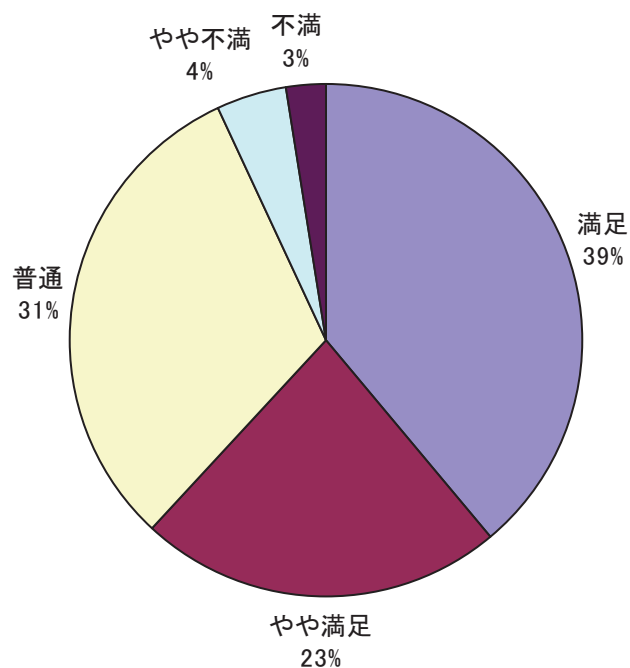
回答数：230

個人Q 9：本コミュニティバスと連携して使用している他の移動手段について（複数回答）



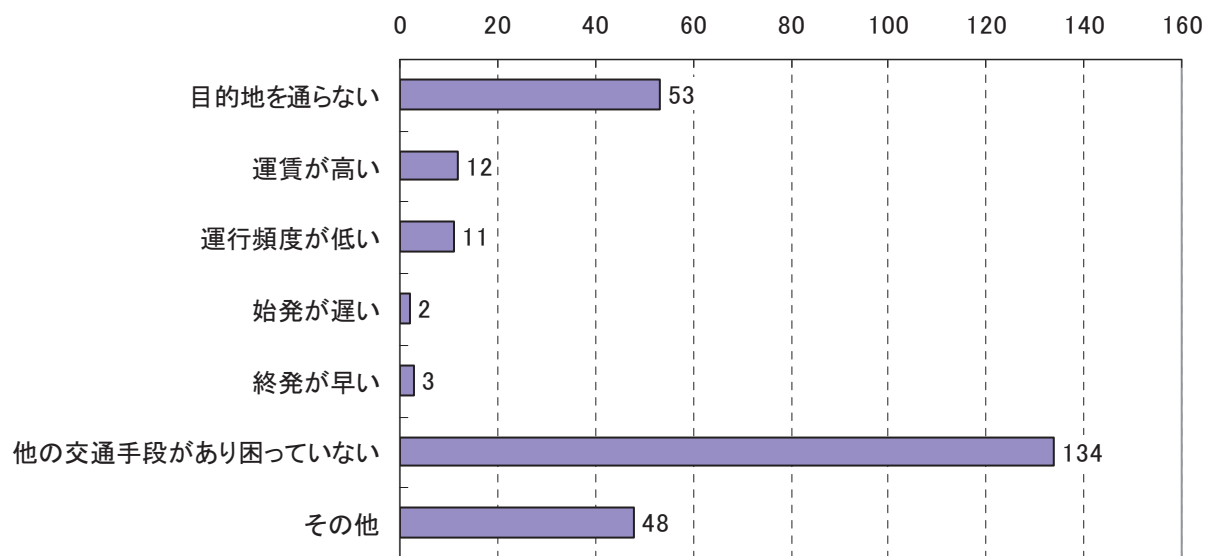
回答数：189

個人Q10：本コミュニティバスの満足度



回答数：116

個人Q11：本コミュニティバスを利用しない理由（複数回答）

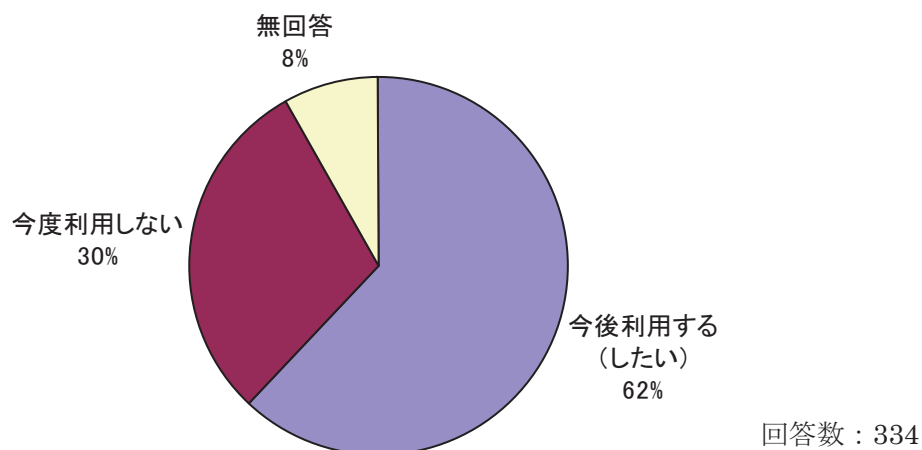


回答数：263

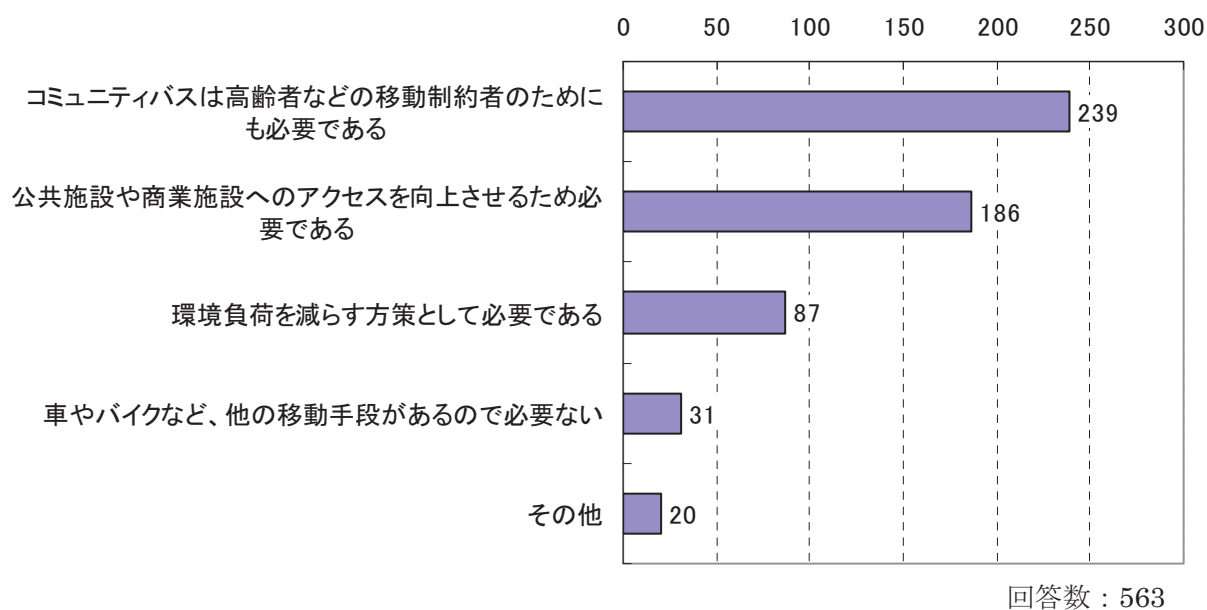
「その他」回答における代表的な意見（原文のまま掲載）

バス停が遠い
各地域を回るため時間がかかりそう。路線バスの方が利用しやすい。
機会がない
バスが運行しているのを知らなかった
路線を細かく知らない為、利用した事がない
乗る必要がない

個人Q12：今後の利用可能性



個人Q12：本コミュニティバスの今後のあり方について（複数回答）



「その他」回答における代表的な意見（原文のまま掲載）

車がない方はタクシーでいいのではないかな？
税金からの助成等で税負担が増えてしまうのでは反対。
自動車や免許のない人にとって助かります。
子どもたちへの教育の為に良いと思う。
交通渋滞解消
バスが走っていない地域の解消になるから
今のところはよくわからない

「環境負荷を減らす方策として必要がある」に特に期待しています。今の時代、マイカーは持って当たり前ですが、少しでも皆の意識がCO2削減や温暖化防止に向けば良いと思います。
1、小中高ともに親の送迎が増えている。学校を通るルートが利用性を高める。2、高齢者の移動手段として必要となっている。病院、商業施設、介護施設をルートに入れる。これら施設に一部負担をしてもらう方法がある。3、バスの小型化。運行回数を増やす。4、通勤・通学時間帯以外のバスの有効活用について。高齢者を対象に病院、商業施設、介護施設の送迎用に利用する。予約制などにより自宅から目的地まで送迎できたら便利である。
1、牧港には病院が多いので、高齢者の方の利便を図る為にも、丸大スーパー前までにバス停を拡張出来ないのか？2、料金は全ての方が100円で利用できるようにしてもらいたい。
1回100円だと、利用者はだいぶ増えると思う。現金のみではなく、割引チケットや回数券があるといい。環境の事を考えたらハイブリットや電気で動くバスだいい。自転車が積めるといい。
2人世帯の高齢者（80歳以上）で年金だけの生活をしている。75歳頃までは自分の車があって、自ら運転していたので、用達しも不便なく行っていたが、転んだり足腰を痛め、常に車を運転しているのは危険だからとして車を持つことは厳禁になった。没収された。2人の子は各々世帯をもって働いているので、病院に行くとしても連れていってもらえない。仕事の的にそのような時間はないので駄目でタクシーを使っているが、妻は全く歩行が出来ないので、どうしてもタクシーという事になる。自分は健康保持で杖を使って病院や買い物に、ゆっくり歩いていけ
330号線の西側の住民には利用価値有りますが、東側はほとんど利用出来ない。
このたびのコミュニティバスは本当にありがたいです。小さな子供つれて行くのは大変。我が家の近くにもバス停があることを知り、市役所やおもろまちに用事がある時は是非利用したいです。本格的な運行になりますよう、願っています。
このバスが運行されて、知人も大変便利になったと言っています。
コミュニティバスがいつ動いているとなると、外出機会がふえ、ありがたいと思っています。いつでも外出が出来るし、胃尼mでの様に家にばかりいなくてすみます。ちょっと出かける時にタクシーを使っているはお金がかかります。これからは公共施設、もっと利用することができます。おもろまちまでのお買い物がいつでもひとりで出かけられてとても楽しくなりそうです。
コミュニティバスの運転手がお年寄りに対する言葉かけがとても丁寧で、乗客として嬉しい気持ちになりました。親切で心優しい運転手さんが、安全運転をしているバスの本格運行が出来る事を期待します。
コミュニティバスの利用についての広報をもっと広く伝えてください。情報不足です。
コミュニティバスは細い道も通れるように小型バスの方が良いと思う。サンエーやマックスバリューなどの大型スーパー前に停留所があると、待ち時間が苦にならない。58号線にも1、2カ所バス停があれば利用しやすい。
コミュニティバスを利用される方の意見をよくきき、ますます利用出来る様になることを願います。今は利用する機会がなくても、将来的には必要になるかも。
コミュニティバス最高です！！もっといっぱい乗りたいです。ありがとうございました
ぜひ継続を求めます。
てだこホールでイベントがある時は駐車場が満車の為、参加を諦めたりタクシーを利用しているが、ぜひコミュニティバスを利用してみたい。
バスだけではやはり不便。トラムで未来を作る会を掲げているLRT基本導入計画に沿った都市交通計画に浦添市も参画して頂きたい。 http://okinawa.lrt.org/post-5.html 又、このバスの存在を知らない人も多いと思う。周知活動に一層の努力を求めたいと思います。
バスのサイズを小さくしてほしい。バスが通る道を大きくして欲しい。バスの時間を多くして欲しい
バス停がわかりずらかった。バス停をもっとわかりやすく、場所をおしえてほしい。
バス停が増えると利用しやすいと思います。
バス停は雨宿りできる様にしてほしい。図書館と58号線をつなぐルートの循環線をもう一つ別につくってはどうか。運転者が小児運賃、祝祭日ファミリー割引を知らない事があった。周知徹底をさせて下さい。
バス停や運行ルートなど、地域社会住民のニーズにきめ細かく応えられるようなプランを作って欲しい。
モノレールとのアクセスを前提とするなら、1路線だけでは魅力がない。お年寄りには低床で小型の乗り合いタクシーの方がよい。年寄りには利用しないと思います。公共商業施設へのアクセスというが、コンビニでお金の出入れ、支払いが出来る時代に利用がいいのか疑問です。市民会館や運動公園はモノレール駅との直行バスを弾力的に運行するシステムを浩構築してはどうか？周辺駐車場も整備が進んでおり、不便さは感じない。公共機関よりショッピングセンターにつなげた方がよいと思う。
モノレールの最終便に乗り継ぎできるまで運行して欲しい。出来れば、パイプライン（浦添総合病院～大平～古島）のルートも増やして欲しい。
ルートが1つしかないのはもったいない気がします。
ルートの道路整備も平行して欲しい
安いからいと思うけど、一方通行なので遠回りだと思う。
安波茶から与儀の職場に通っています。私の場合、おもろまちまで歩いていっても、バスが遠回りして、安波茶に着くまで1h以上かかると思いますので、利用できません。

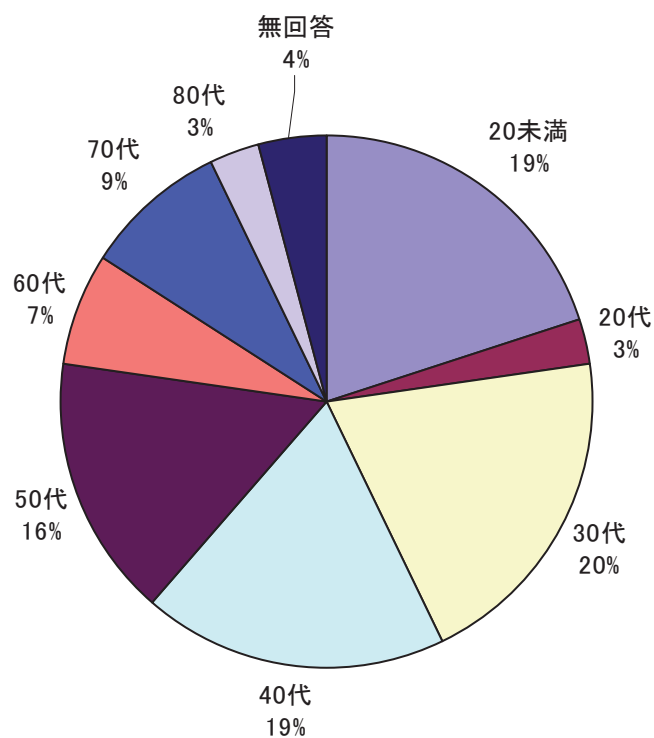
移動手段に不自由している人の意見を数多く採用して欲しい。
一番いいなと思ったのは値段の安さです。200円で家の近くまで帰れるので、とても便利です。コミュニティバスで降りるバス停が家に一番近いバス停です。これからも利用したいと思っているので宜しくお願いします！通学時間の時、17時をよく利用するので、バスをもう一台増やしてほしいなあと思っています。
浦添運動公園へ行くときなど、車を運転出来ても駐車場がなく、コミュニティバスがあれば便利でよいと思います。夏には利用したいです。
浦添市内100円、市外200円だといいかも。県庁前まで運行してもらえるとさらに利便性が向上するのでは？電車の様に区間運賃にして欲しい。
浦添市内で住居を探していた時、沢岬、当山など、良い物件があっても那覇へのバス通勤が出来ないため、却下した事があった。コミュニティバスを通勤、通学のための路線バスへの乗り継ぎ前提でも運行していただけると良いと思う。
浦添市内を一周する必要があるのでしょうか。コースを二つにわけては？
浦添商業高校入り口と伊祖公園前の相田に1つ停留所があると牧港2丁目の住人は利用しやすくなり、大変助かります。ご検討宜しくお願いします。
運行ルートや時間帯によっては利用者増が見込まれると思います。
運賃が安いので利用しやすいと思う。色んな学校の側を通るので、通学などに便利ではないかと思う。
家の近くを通ったら利用すると思う。(目的地が少し遠くても利用すると思う。)コミュニティバスは良い取り組みだと思うので、出来るだけ長く取り組んでもらいたいと思う。今は上手く利用できてないが、今後は利用したい。
回数券があると便利でよい。高齢者(65歳とか70歳以上)は100円にしては？
各停留所は病院へのアクセスも考慮されていけば良いと思う。
頑張ってください!!同封の路線図はとても参考になりました。是非今月中に利用してみたいと思います。
既に路線バスが走っている。利用者が少ない、無駄である。
距離によって運賃を決めて欲しい。那覇国際高校前にも停留所を作って欲しい。回数券や定期券を作って欲しい。
興南高校前で停まるのが、とても便利なので、是非通常運行になって欲しい。
現況のコミュニティバスの路線はパイプラインから西側の住民には利便性があるが、大平、安波茶、仲間方面に居住する市民にとっては不便である。
現在、運行しているバスよりも少し小型でも高齢者の方が乗り降りしやすくして欲しいです。
現在は車を利用している為、コミュニティバスがあることを知らなかった。図書館や運動公園などは利用してみたい。
現在車を運転でき用は済ませています。今後、加齢と共に運転も出来なくなると日用品の買い物等どうしたらいいのか不安です。近くにスーパーが無いため、これから先、動きが不自由になるのでは気にしています。ですから今後も運行を希望いたします。
現状の運行ルートでは古島までの所要時間がかかりすぎる。大平ICからパイプラインに入る循環型にしてほしい。
個人としては利用しないが、高齢者などの移動制約者の為なら希望します。
個人として利用するなら駅や那覇市に行く時だけなので、通常路線バスの方が時間がかからず都合がよい。しかし、他の地域に住んでいる方々には便利だと思うので、運行した方が良いと思う。
高校生になったら通学に利用したいので、国際高校前を通る路線を作って欲しいです
高齢者の方々の事を考えると非常にありがたいと思います。自分自身が運転できなくなった時にあると、かなり助かると思う。閉じこもり予防にもなるのでは？
高齢者や障害者が病院や外出に困っている場合に彼らのニーズに応える方法で運用するとよいのではないのでしょうか。(外出支援方式で)
今まで何度か運行された車があったが、大体2、3ヶ月で運行停止された。今回は行政を信用していますので、ずっと運行して欲しい。
今後、高齢化の為、車を持たない人が増えるので、大変重要だと思います。
今後は利用可能性があり、是非台数を増やして欲しい。ルート時間等も車を運転できなくなった方の為にも。高齢者とはぜひ必要だと思います。
時々コミュニティバスを見かけますが、ほとんど乗客がいたことがないように思います。現在、58号線と330号線を通るバスを除き、浦添市内を通るバスは55、56、99、87程度です。全て市外から来るバスでもあるため、渋滞による遅滞が状況を悪化しています。コミュニティバスで市内をくまなく巡回する事で(細い路地まで)定時継続は可能で、定時性が確保出来れば利用者はもっと増えると思います。目的地の近くまでコミュニティバスが市内を走り回りいくつかの路線が出来れば、ICカードを導入して乗り換え割引制度も導入し、市内
実際の事は今、自家用車を自由につかっているので、コミュニティバスも知らなかった。今後車をもてなくなると利用すると思いますので、公共施設やスーパー、病院へのアクセスが可能であるように計画してもらえると良いと思う。
住宅街の運行なので、安全運転でよいと思います。本格運行になればよいと思います。週末なども利用したいと考えています。
春からの通勤に利用したい。

小児や高齢者にとっては必要だと思う。赤字に成らない為に市民全体から多少料金を取ってもよいと思う。
城間1丁目住民。屋富祖入り口から古島駅まで乗るつもりで出かけた。18:10予定のコミュニティバスは来ないで18:15路線バスが先行した。運賃160円？で古島までパイプラインを行。このルートは路線バスが有利
是非、本運行に期待します。
前にメインプレイスに遊びにいったけど、それよりも遠い場所に降ろされた。今回のバスで自宅からいけるので嬉しいです。
全体的にバスを小型化し、臨機応変に運行する。(ピーク時は大型、その他は小型など)
大平からパイプラインを通る新都心向けのルートも考えて欲しい。終電の時間を遅くして欲しい。(23:50ぐらいまで)ゆいレールの最終に乗り継ぎ出来る時間までお願いします。
大変関心があり、先日路線確認の為、おもしろまち～城間2丁目まで乗車いたしました。時間のせいかもしれないけど認知度が低いのか、5人程度しか乗車していなかったです。色々な方法で宣伝されたと思いますが、まだまだ知らない人が多いのではないのでしょうか。私は思うのですが、路線確認(バスが通っている事を知っていただく)の為にも65歳以上、3日間無料乗車できたら、料金の200円も苦にならず今後、用事がなくとも乗車回数は増えると思います。時間も十分ありますし、みなさん外出するのも好きですよ。
知らない人もまだいると思うので、定着するには時間がかかるのでは。本当に必要な人がいるならば、本数を減らしても残す方がいいのかな。とても難しい問題ですね。
仲西のバス停も通ってほしい
通常のバスルートは混んで渋滞を余儀なくされる事が常であるため、時間通り目的地に着くためには、多めに時間を費やさなければならなかったりすることがほとんどだが、今回のコミュニティバスは比較的空いているルートを走るため、予定の所要時間の通り目的地に着く事ができたので、すごく利便性を感じた。また、住宅地内の内部ルートの為、バス停までが近いのも便利である。比較的狭い道路を通っているの、時間帯によってはバスをもう少し小型化してもいいのかも。
停留所の拡大 仲西地区
停留所をフリーにしたらどうか？バスをみかけたら何処でも手をあげて乗れるようにする。
定着するのに時間がかかると思いますが、必ず利用率は向上すると思います。これから高齢化社会に向けて、公共交通機関との連結は必要だと思います。
当方は、コミュニティバスを利用した事がない。利用する機会はあるルール乗り継ぎで、何回かあったが、市役所前で乗車してモルルール古島駅まで行くのに伊祖～城間～宮城～内間を経由するので、時間が長くなり、結局タクシーや既存の路線バスを利用した。市役所→国道330号線→古島駅→儀保駅→経塚→沖縄国際センター前→市役所のコースを開通したら利用できる。
年をとるといずれはマイカーも利用出来なくなると思う。これからはバスが走っていればいつでも外出しやすいし、有難い事だと思う。
民間の路線バスを有効的なルート変更等で対応できるのでは？市税を投入してまで実施する事ではない。
矛盾した回答になりましたが、私自身は利用しないと思います。が、移動制約者の為には大変良いことだと思います。
料金が100円であれば平日は毎日でも利用すると思います。回数券などがあればなお良いと思います。

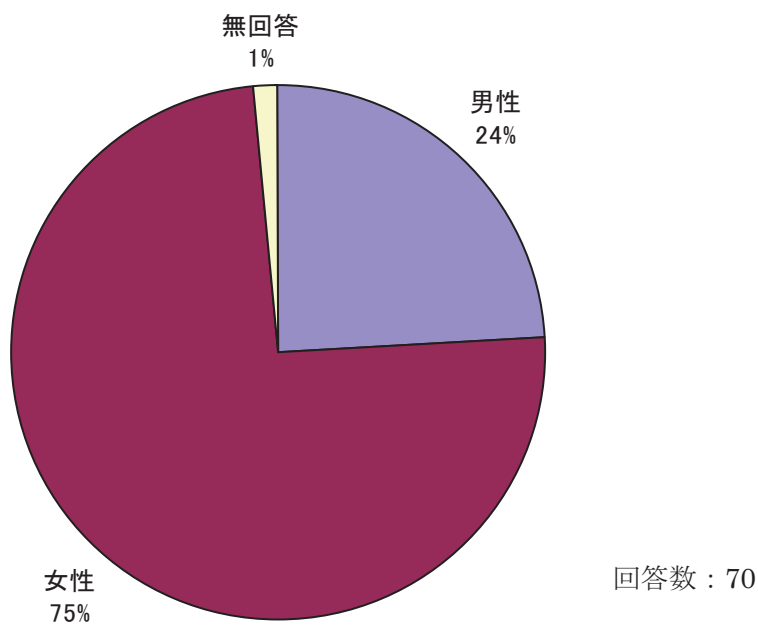
(2) バス利用者アンケート

①調査期間	平成23年1月21日～
②調査方法	バス車内にアンケート用紙・筆記用具・回収BOXを設置
③配布数	適宜アンケート用紙を補充し最大2000票
④回収結果	70票 ※平成23年1月30日時点

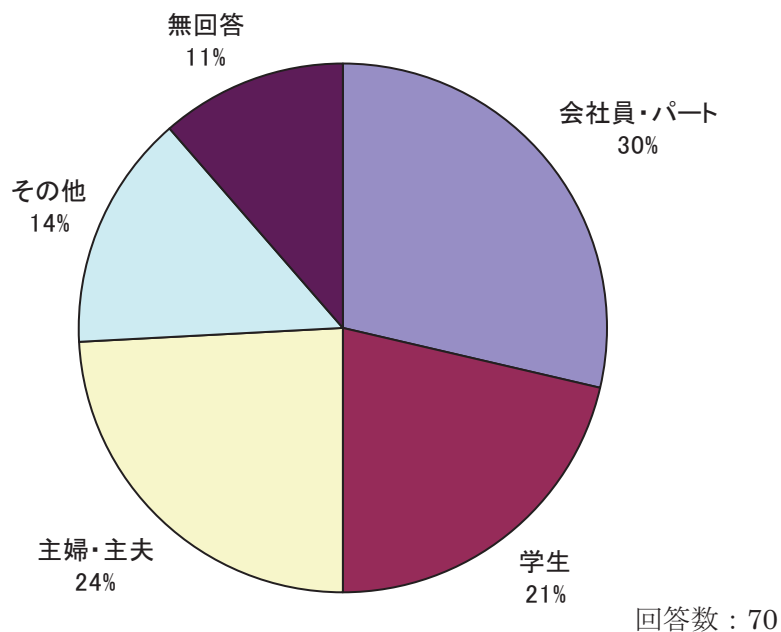
利用者Q 1：年齢



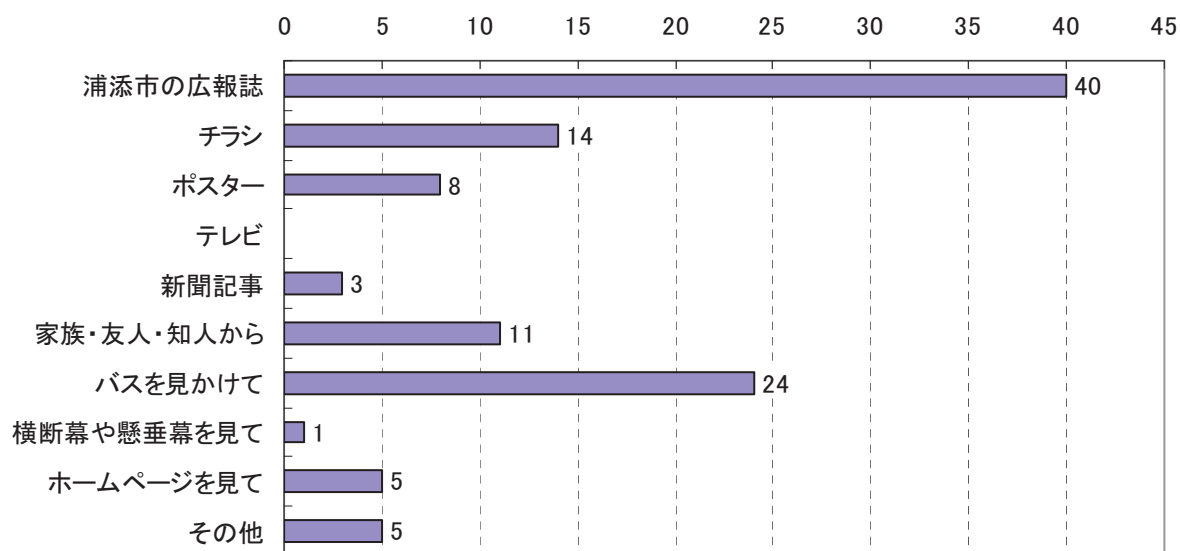
利用者Q 2：性別



利用者Q 3：職業



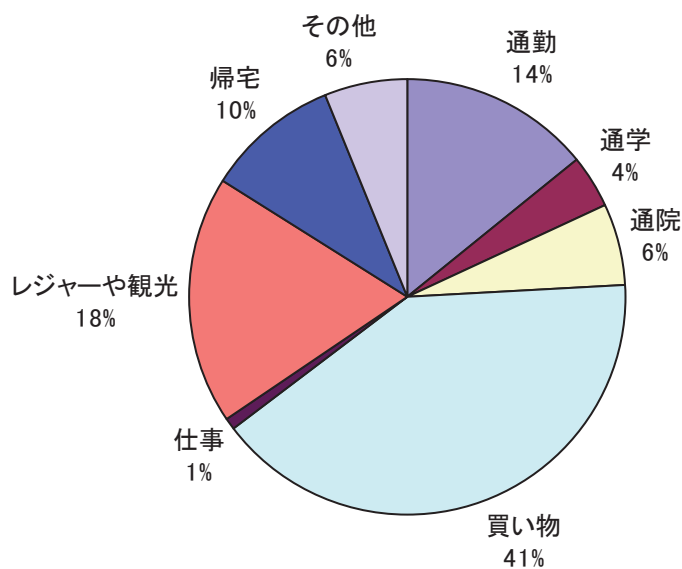
利用者Q 4：本コミュニティバスのことを何で知りましたか？（複数回答）



「その他」回答における代表的な意見（原文のまま掲載）

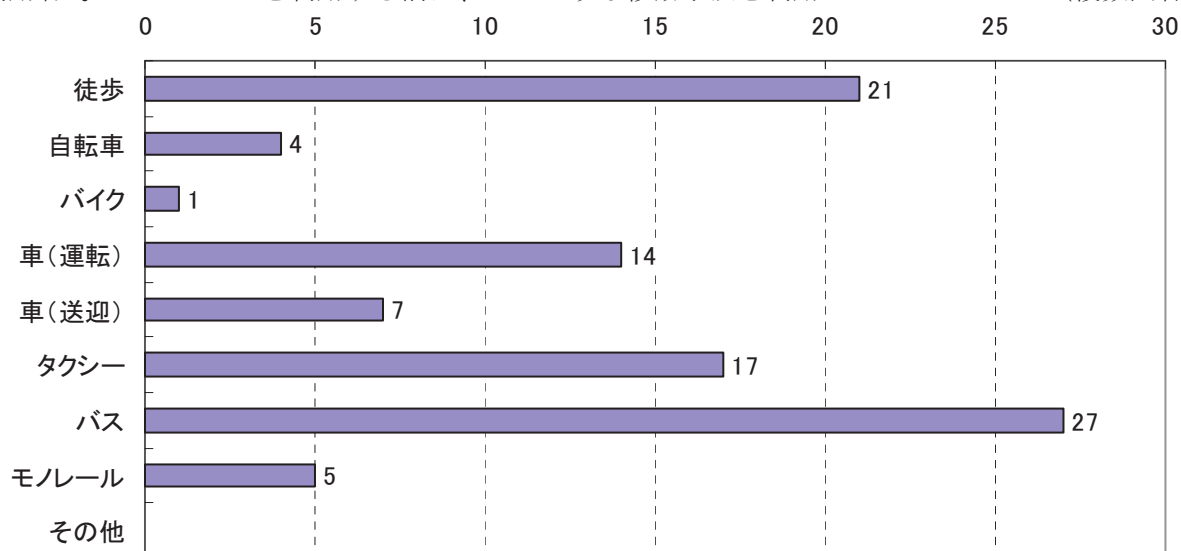
バス停を見て
学校で案内があった
ルート案アンケートで知った

利用者Q 5：利用目的（複数回答）

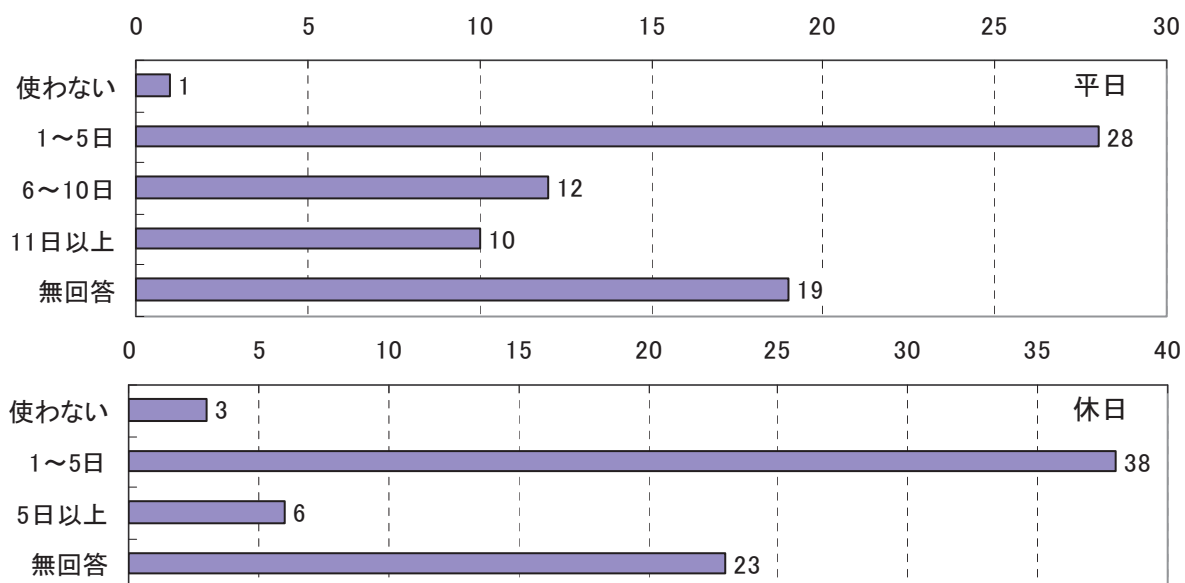


回答数：99

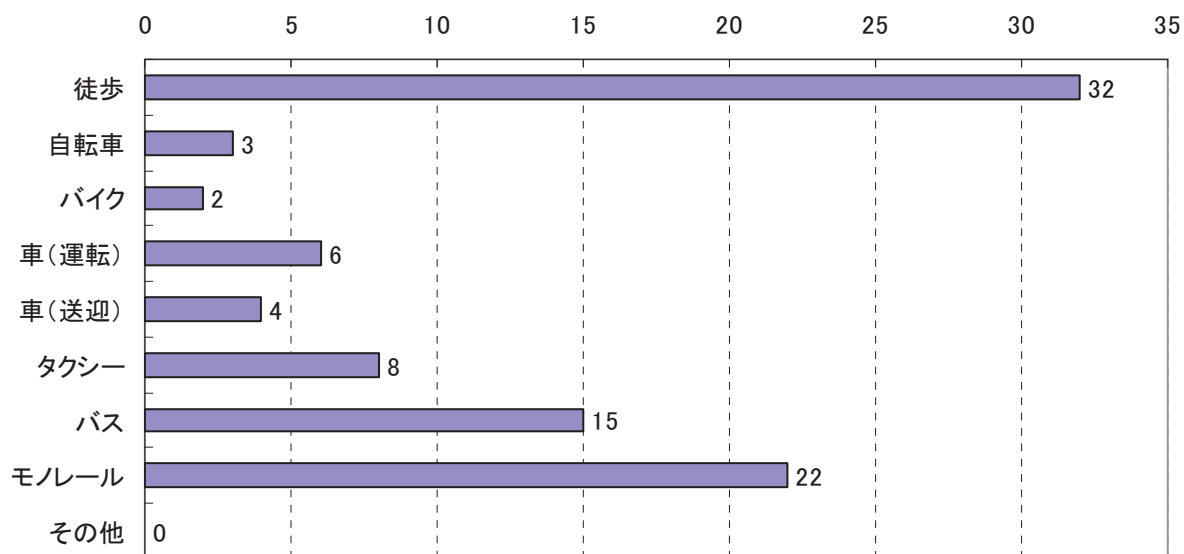
利用者Q 6：このバスを利用する前は、どのような移動手段を利用していましたか？（複数回答）



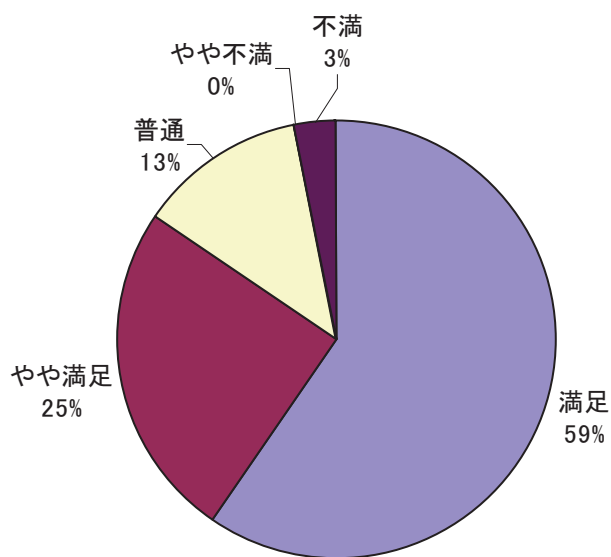
利用者Q 7：1ヶ月間にこのバスを利用する日数は？（複数回答）



利用者Q 8：本コミュニティバスと連携して使用している他の移動手段（複数回答）

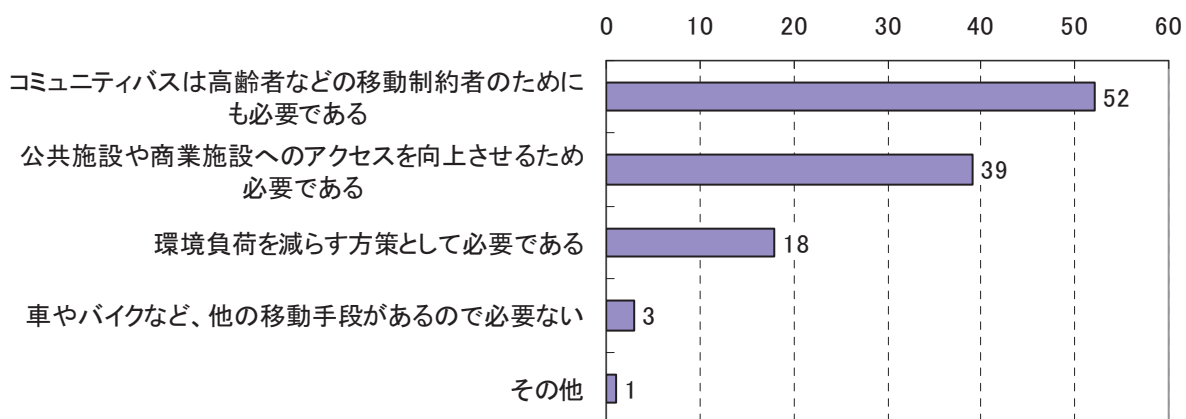


利用者Q 9：本コミュニティバスの満足度



回答数：64

利用者Q10：本コミュニティバスの今後のあり方について（複数回答）



回答数：113

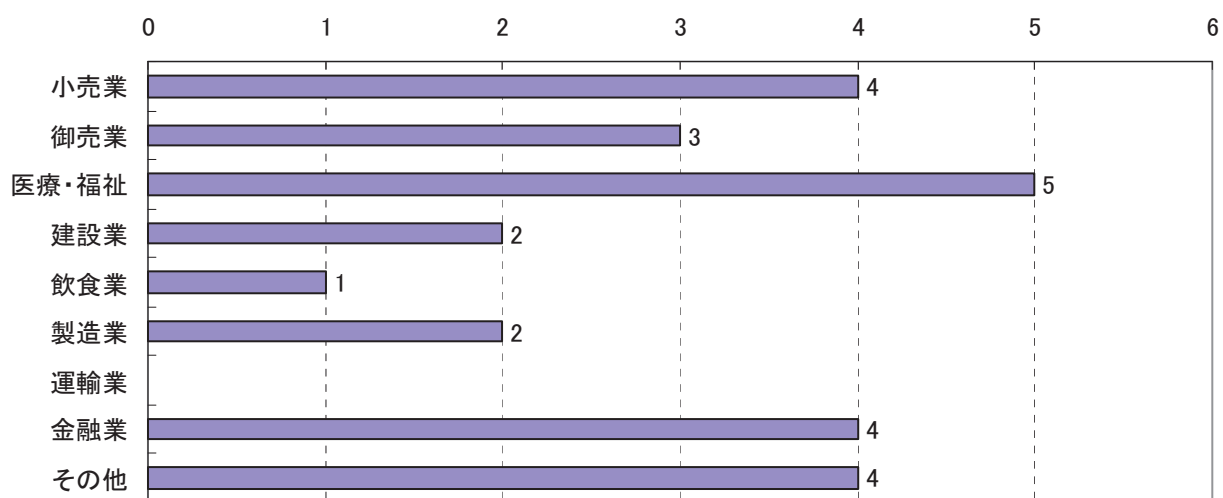
利用者Q11：自由意見抜粋（原文のまま掲載）

75歳以上の高齢者の料金を半額にしてほしい。小型バスでも料金が安い方がいい
I Love コミュニティバス！！
いつもありがとうございます。大変便利になって助かっています。
お年寄りに便利でよい
お母さんに迷惑をかけたくないので本格的に走ってほしい
このバスの運行でとても助かっている。運転手さんの対応もすごく良く、すごく良い気持ちで学校に通うことができ感謝しています。いつもありがとうございます。これからもよろしく。
このまま運行を続けて頂きたい。特に高齢者はありがたい。外出が多くなりました。
たまに遅い
たまに遅いけど、便利でよい
できるなら継続を。おもろまちへ行くときにとても助かる
できればこれからも運行してほしい
とても便利なのでこれからも続けてほしい
バス停の時刻表に祝祭日のものがないところがある。もっと広報しないと乗客が増えない。
もっと小型にして本数を増やしてほしい。また小型にして内部まで入ってほしい。必要な人がいると思う
安いし時間どおりなのでよい
浦添市内58号付近から首里・南風原方面への利用が全くできない。本コミバスと連絡できるといいのだが。
運行を続けてほしい
屋富祖通りも通ってほしい。大人は150円でいいと思う。
継続運行してほしい。役所に行くときにとても便利
公共施設・商業施設へのアクセス向上には、おもろまちでのルート変更を望む。（メインプレイスと博物館の間を通る具体提案ルート有り）
今後は、買い物他、また利用したいので楽しみが増えると思います。
時間を守って安全運転ありがとうございます。通勤や買い物に大変便利だと思う
時間通りにこない
車がなく、コミバスがあると便利で助かる。これからも使います。
図書館から近いので悪天候時には是非利用したい。2月のヤクルトキャンプを見に行く人に便利さをPRした方がよい。
是非3月以降も利用したい
是非運行お願いします。
総合事務局職員なので、合同庁舎前を経由してくれば毎日利用する
那覇に行くにも便利になり、大変助かる。新都心へも気軽に買い物に行けるようになり、料金もまあまあで助かります。
文句なし
本当に助かっているので、今後も是非継続してほしい

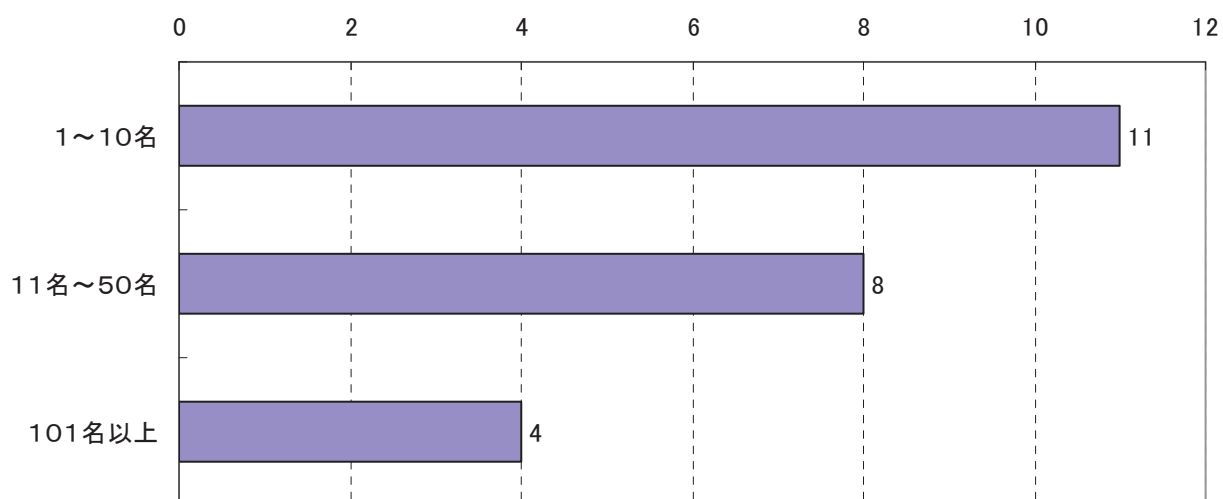
(3) 沿線事業者アンケート

①調査期間	平成23年1月21日～
②調査方法	郵送配布・回収 ※送付先は業種毎に選定
③配布数	100票
④回収結果	23票 ※平成23年1月30日時点

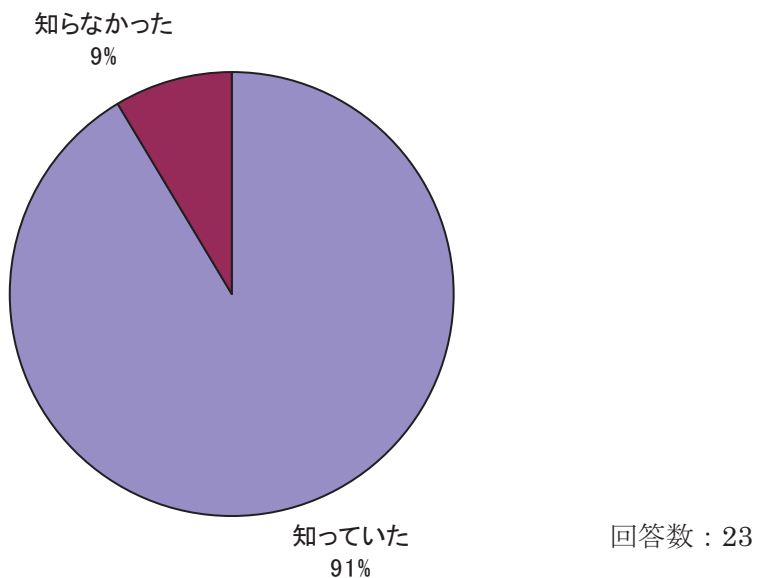
事業者Q1：業種



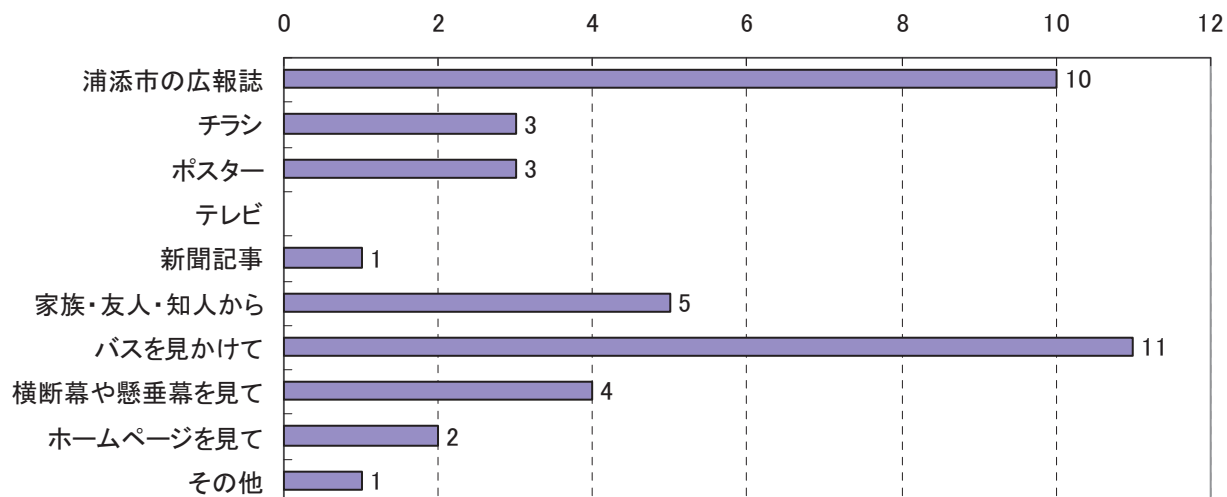
事業者Q2：従業員数



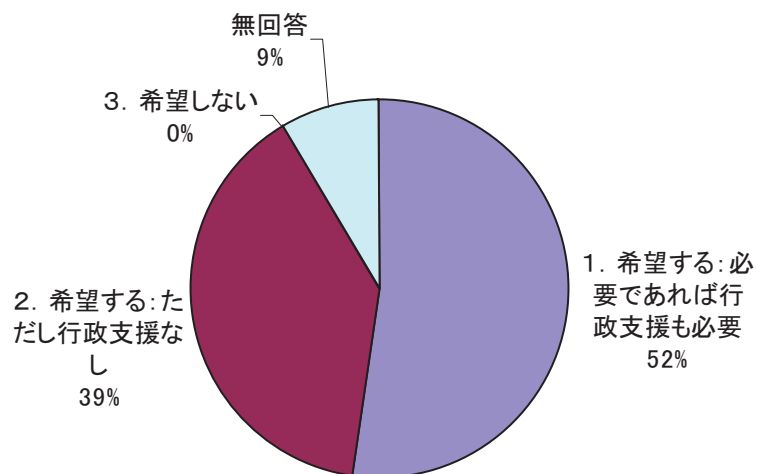
事業者Q 3：本コミュニティバスが運行していることを知っていましたか？



事業者Q 4：本コミュニティバスのことを何で知りましたか？（複数回答）

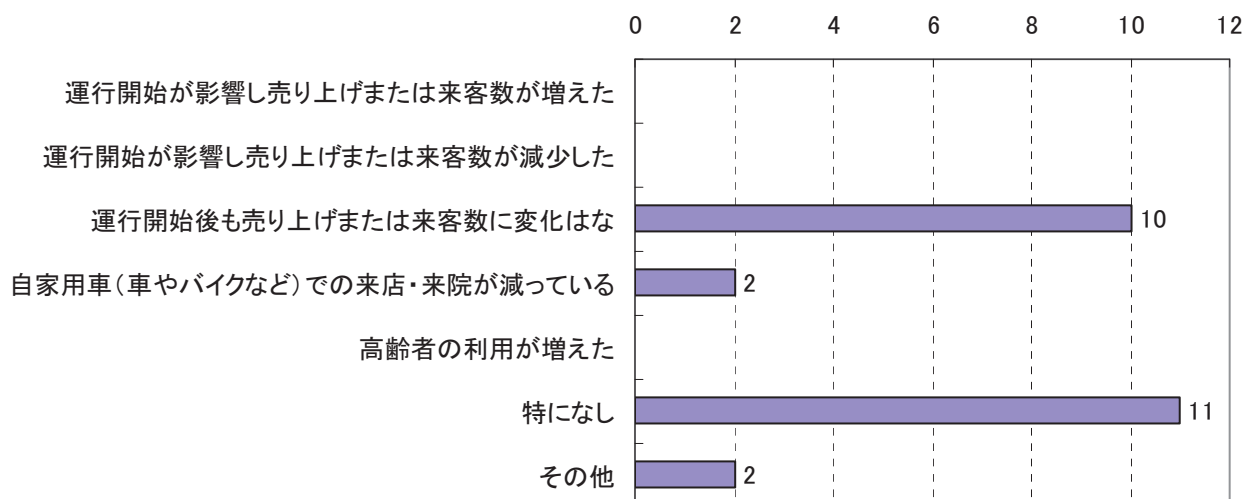


事業者Q 5：本コミュニティバスの本格運行を希望されますか？（複数回答）



回答数：23

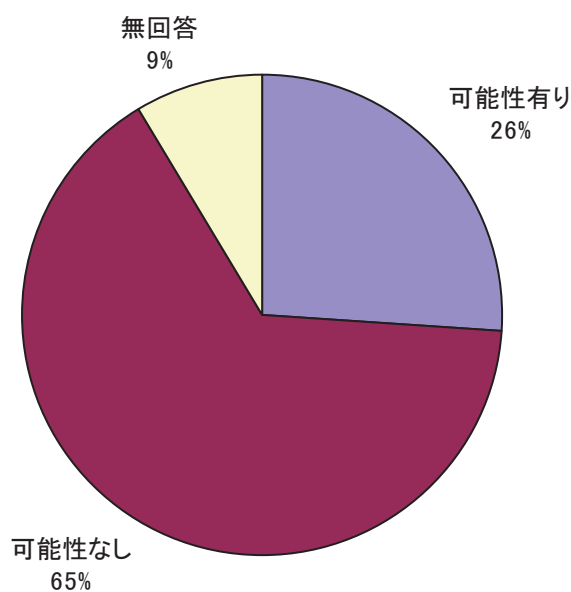
事業者Q 6：本コミュニティバスの運行開始による売り上げやお客様の变化など（複数回答）



「その他」回答における代表的な意見（原文のまま掲載）

学生の交通手段が増えた
那覇市内の小学校でコミュニティバスを利用し工場見学に来られた。

事業者Q 7：本コミュニティバスを貴社の販促活動の一環として活用する可能性

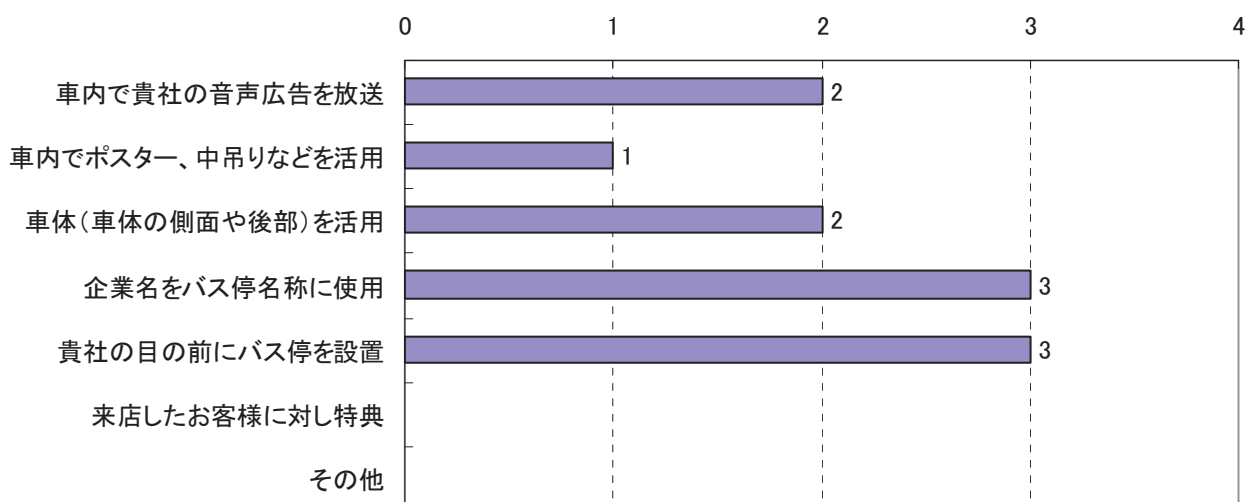


回答数：23

「可能性なし」回答における代表的な理由（原文のまま掲載）

バス停から遠い
範囲が沖縄全域での営業なので
溶接機等の販売業なので、バスでの持ち帰りが困難なので

事業者Q 8：販促活動の一環としてどのように利用したいと思いますか？（複数回答）



事業者Q 9：自由意見抜粋（原文のまま掲載）

浦添警察署、消防署方面へのバスの本数が少ないのでルートに加われば助かるのですが
個人的にはお年寄りや学生などのためにこれまで車しか交通手段がないところなので、まだまだバスを知らない人が多いと思うので、PRして利用客を増やし本格運行してほしいです。
中学生の息子が部活動の大会・練習等へ利用させてもらっています。ぜひこれからもコミュニティバスを継続運行を希望します。できればもう1つルートパイプライン線(パークレイズまでの延長)も検討してもらえればと思います。
毎日、乗車数を確認(みれる)できる環境にありバスのサイズを小さくしてエコ運行が出来るといいのでは？と思っています。バス停で利用者が待っているのを見かけるので運行はよいと思います。
利用者等が少ない小型バスにしたらいかがですか？

4. 意見交換会実施結果

①実施日	平成23年1月25日(火) 沿線事業者等 平成23年1月28日(金) 沿線自治会
②参加団体	沿線事業者等(9団体 12名) ・浦添市社会福祉協議会 ・浦添市温水プール「まじゅんらんど」 ・浦添市観光協会 ・浦添市体育協会(市民球場、体育館、陸上競技場) ・浦添市美術館 ・サンパーク通り会 ・興南高等学校 ・沖縄明治乳業株式会社 ・カフェネラミット 沿線自治会(7団体 10名) ・浅野浦自治会 ・安波茶自治会 ・伊祖自治会 ・内間自治会 ・大平自治会 ・緑ヶ丘自治会 ・宮城自治会

(1) 沿線事業者等

分類	意見
周知度について	・ 観光協会には浦添市コミュニティバスに関する問い合わせは1件のみ。そのことを考えると周知不足と感じる。 ・ モノレールの駅構内や中吊り広告で浦添市コミュニティバスを紹介しているので、モノレール利用客には周知できているのでは。 ・ バス停が小さいためわかりづらい。 ・ 通常のデザインなのでバスが目立たない(ラッピングバス希望)。 ・ 陸上競技場での乗降が少ない。陸上競技場を利用する方への周知不足を感じる。 ・ 浦添市コミュニティバスに乗って来たお客さんにデザートをプレゼントする企画をしているが利用者はまだいない。 ・ 施設に設置したチラシはコピーして追加するほど、施設利用者の注目度は高い。
利便性について	・ バス停の乗降部分が狭く利用しづらい。 ・ 高齢者は低床バスでないと利用しづらい。 ・ 定時性が確保されているので利用しやすい。
期待する意見	・ 冬場はイベントも少ないため乗車人数が少ないのではないかと。夏場の運行なら乗車人数が上昇する。

	・ 社会実験で採算がとれないと出た場合は、そのまま中止ということになるのか？是非、本格運行して採算が取れる努力や施策等を実施してからその後判断してもよいのではないか。 ・ 冬場の３ヶ月のみで結果を判断するのは短すぎる。夏場は行事が多く乗車人数が増える時期なので是非本格運行してほしい。 ・ ２月はプロ野球キャンプがあり、駐車場の確保が困難になるため浦添市コミュニティバスに期待している。 ・ 宮城地区は公共交通を利用するには不便な地区なため継続運行を望む。 ・ 周知不足の中平均４００名乗っているのなら、定時性が確保されている利便性から定着すれば乗客数は増えると思う。 ・ 学校側で無料バスを運行しており、登校時より帰宅時に部活動などで無料バスに乗れない学生が有効活用しているように感じる。学校として本格運用は学生のためにもありがたいと思っている。 ・ 各施設が優待券などを発行するとか、総決起大会を開催するとかなどしてでも、是非継続して運行してほしい。
ルートについて	・ 市内を遠回りするルートなので、通勤・通学利用者には時間がかかりすぎて抵抗を感じる。 ・ 時間帯に応じたルート設定（通勤・通学時間帯はルートを短く設定）や複数のルート設定でもよいのでは。 ・ お店に行きたいけど駐車場が小さく（無く）行きづらいと感じているお客様に対して、パーク＆バスライド（P＆BＲ）のように公共駐車場と商店街等を行き来するルートを検討できないか。
利用促進や協働可能性について	・ 車内にお店のクーポン券を設置するような協働活動はできる。 ・ 浦添市美術館ではゆいレールフリー乗車券と連携した入館料割引（１０％割引）を実施中である。バスとの連携も検討できると思う。 ・ 是非、車内広告等を活用したタイアップ、連携施策等は検討したい。
その他	・ 高等学校では４３名、中学校では２７名（計７０名）のバス利用者がいる。 ・ 市内の短い移動に限ると２００円は高い。 ・ 浦添市コミュニティバスを利用している従業員はいない。 ・ 工場見学に小学生が浦添市コミュニティバスを利用していた。 ・ 利用者の大半が高齢者や子供に感じる。告知活動をホームページで行うのは限界があるのではないか。別の手法をもっと活用してほしい。 ・ 浦添市コミュニティバスによって施設利用者が増加した実感はない。 ・ 乗降者数の時間帯別グラフを見ると通勤・通学での利用というよりも、当初の目的であるコミュニティ的な利用がされていると思う。

■開催後提供 ※下記報告は、１月２７日（木）に全生徒を対象に担任がヒアリング調査してものです。

浦添商業高等学校（全校生徒８８１名）

・ 登校時で利用している又は利用したことがある	３３名
・ 下校時で	〃
・ 休日で	〃
	５９名
	９４名

(2) 沿線自治会

分類	意見
周知度について	・ 広報活動が十分であったのか、不足ではなかったのかという検証も必要。バスの前後のみに横断幕を設置しているが、広告媒体として重要なので側面で、ラッピングなど目立つ広報活動をすべきである。広報不足と感じる。
利便性について	・ 大平地区からはバス停までの距離が遠く利用しづらい。10 分程度の距離にバス停を設置してほしい。
期待する意見	・ 免許がないため、浦添市コミュニティバスの運行は大変感謝している。是非継続してほしい。 ・ 高齢者が浦添市コミュニティバスに乗って那覇新都心まで行って食事をして帰ってきたと目を輝かせて楽しそうに話していた。高齢者の外出機会の創出に役立っていると実感している。是非、継続運行してほしい。 ・ 老人会からは浦添市コミュニティバスが走ったことで大変助かっているという声をよく聞く。那覇新都心や浦添市役所にも家族に頼らずにいけるようになったと聞いている。是非、継続運行してほしい。 ・ 是非、継続運行できるように努力してほしい。 ・ 是非補助等も活用して継続運行してほしい。
ルートについて	・ 那覇新都心から浦添市役所まで約 1 時間かかり時間がかかりすぎる。東京都の山手線のように那覇新都心⇒国道 330 号⇒大平というルートで環状線にしてはどうか。 ・ 浦添市コミュニティバスに乗って買い物となると那覇新都心しか利用できない。浦添市内の大型スーパーを経由するようなルートにしてほしい。 ・ 大平地区の住民からは那覇方面に行くために、宮城地区に入って遠回りする浦添市コミュニティバスは利用しないとの声もある。 ・ 那覇新都心での利用者が多いのは、その大半は買い物が目的だから。那覇ではなく浦添市内で買い物してもらえるようなルートにしてほしい。 ・ 市民サービスという観点だけでは採算性が取れず運行は難しい。那覇市の成功事例は目的から目的へのルート設定で成功しているので、交通弱者へのサービス向上という観点だけでは難しいと思う。本格運行するためには、市内が活性化するために経塚シティーなどを経由するルート設定が大事。 ・ 那覇市の成功事例の「石嶺・首里みぐい線」は観光地を通過するルートなので成功している。浦添市コミュニティバスも那覇新都心⇒浦添市役所⇒浦添城跡と観光地をめぐる環状線をルートとしてもよいのではないかな。 ・ 国道 330 号をルートに設定することで他路線とお客の奪い合い（競合）になることを心配されているが、乗る場所によっては浦添市コミュニティバスを利用する方が高い場合もあるので、ルート設定時に他バス路線への影響を配慮して国道 330 号をルートにしない理由はおかしい。 ・ 観光客が古島から浦添市コミュニティバスに乗り換えて浦添城跡に行けるルート設定にすべきだ。 ・ 今のルート設定では安波茶住民は那覇まで行くのに 1 時間近くもかかりメリットがない。環状線にすればそのデメリットが解消される。

	・ 浦添市役所近辺の利用者数を増やすようなルート設定等をしないと難しいと思う。 ・ 通学利用を考えると国際高校をルートに設定したらどうか。浦添から国際高校に行くため古島や西橋でバスを降りて歩いて通っている学生も多いのでニーズはあると思う。興南高校は無料バスがあるので利用者は少ないと思う。 ・ 経塚や沢岬にも魅力ある遺跡や文化などがあるので、そちらもルートに設定してほしい。
車両について	・ 特定の時間帯だけ利用者が多く、平均20～30名の利用者数なので小型バスでもよいと思う。 ・ 乗降者数のグラフや利用した実感から、那覇新都心を走っている小型バスでも十分と感じる。
料金について	・ 学生から料金が200円なのは高い。100円なら利用するという声を聞いた。料金が半額の100円なら、利用者数は今の3倍になると思う。そうすれば採算性という面はクリアするので、料金を100円にして、社会実験をもう1回実施してみたい。 ・ 料金を100円にして他路線を圧迫するほど利用者がいました、という結果になればそれこそ採算性がとれる路線なのでバス事業者が運行するのではないかな。
その他	・ 乗降者数について男女別、年齢別、目的別で解析してもらいたい。 ・ 採算性を考えると那覇新都心経由は外せないのではないかな。 ・ 利用者を対象としたアンケートを実施して、利用者の傾向等を把握しルート設定に活用してほしい。 ・ 試験的な運行であれば利用者の意向を聞いて、導いていくことが大事と思う。 ・ 25年前に浦添市内を周遊するバスが運行していたが、利用者が予測した数値の2割にも満たず、3ヵ年で廃止になった。その際のデータ等について十分な検証を実施したのか。 ・ 平均乗車人数を示しているが目標乗車人数は一体何人なのか？それで、実際の乗車人数は目標乗車人数の何割に達しているのか？是非公表してほしい。 ・ あと1ヶ月では実証実験は終了するので、目標乗車人数を達成するためにはどうすればいいのか十分議論してほしい。 ・ 市民のために路線バスを走らせようと社会実験を行っているのだから、バス事業者が運営できないのであれば行政が運営することはできないのか。 ・ 今の利用者数では採算性が取れないもしくはトントンなので本格運用は難しいのではないかな。 ・ 内間地区は那覇まで近く他路線バスでは160円で行けるので、那覇向けの利用は少ないように思う。浦添市役所向けのニーズはあるのではないかな。 ・ 経塚まで行く78番線よりは利用者数が多いようだが、浦添高校生の通学利用は距離があるためか少ないように思う。 ・ バスを利用していた方で「浦添市を見に行きたい、浦添市を知りたい」と浦添市コミュニティバスに乗っている人がいた。浦添市内を見て回れるバスは他にない。通勤・通学者を対象とするだけでなく、現在のルートで浦添市の遺跡や文化に触れられる魅力を持たせてほしい。 ・ モノレールが浦添市まで延長したら、今回のような社会実験を再度実施するのか？

5. 広報活動

実証実験開始後（12月1日以降）に実施された広報活動の一覧を以下に示す。

（1）浦添市コミュニティバスホームページ

- ・ <http://www.okikosai.or.jp/kenkyusho/comibus/index.htm>
- ・ 浦添市コミュニティバスの利用促進を目的にホームページで、ルート沿線で実施されるイベントを紹介しつつ、会場近くのバス停を紹介。



最終更新日: 平成22年12月27日

★運行期間: 平成22年12月1日～平成23年2月28日(予定)★

[路線図](#) [料金](#) [時刻表](#) [バス位置検索](#) [おすすめスポット](#) [お問い合わせ](#) [その他](#)

浦添市の市立図書館から那覇市のおもろまち駅前広場を20～35間隔で運行しています。



[ページトップに戻る](#)

◆ お知らせ ◆

H23.2.7
New

平成23年2月11日にてだこホールにて平成22年度 第37回浦添市社会教育学級生大会が開催されます。
会場にお越しの際は是非浦添市コミュニティバスをご利用下さい。
■カルチャーパーク前バス停で下車。 ■徒歩約3分。
詳しくは浦添市HPをご覧ください。



H23.1.31

平成23年2月26日に浦添市民球場にて東京ヤクルトスワローズのオープン戦が行われます。今回は全てが自由席&土曜日の開催となり、さらに楽しみやすくなっております。
会場にお越しの際は是非浦添市コミュニティバスをご利用下さい。
■カルチャーパーク前バス停で下車。 ■徒歩約5分。
詳しくは東京ヤクルトスワローズ浦添協会HPをご覧ください。



[ページトップに戻る](#)

(2) 新聞掲載記事

・琉球新報 平成23年1月26日 8頁

浦添地域バスを利用しよう
大城 一成 71歳

昨年の12月1日から「浦添市コミュニティバス」の実験運行が開始され、はや1カ月余り、私は時々利用しているのですが、とても便利になった。実験運行は期間限定で2月28日までとなっている。

路線開設の目的が利便性向上、高齢者の社会活動の増大、公共施設や商業施設などへのアクセス性の向上となっている。路線が市役所、てだこホール、市立図書館、運動公園など他の公共施設へ行くにも便利である。沿線の高校が3校、10分程度歩く他の3高校とも通学に最適である。都市モノレールとも連結している。バス利用と歩行運動も兼ねた健康維持にも適している。素晴らしい発想だと思う。

採算が取れないと廃止される。いかに地域住民が日常の生活に生かすかにかかっている。車を持たない中・高校生や高齢者の利用で安全性にも富み、料金も大人(中学生以上)200円、小人(小学生)100円。路線周辺住民が有効に利用してぜひとも本格運用を期待したいものである。(浦添市)

・時事通信社 平成22年12月28日

10/12/28 07:30 | KL033 時事通信

【市政コーナー】◎「脱車社会」へコミュニティバス試験運行＝沖縄県浦添市

浦添市は、12月1日から3カ月間の期間限定でコミュニティバス1路線の試験運行を開始した。市内の交通不便地域を解消するとともに、隣接する那覇市内を走るモノレールと連携させることで公共交通機関の利用促進を図り、「脱車社会」に寄与できるかを探る。

2005年の国土交通省のデータによると、九州・沖縄地域で平日の自動車交通量が最も多い上位3地点が全て浦添市内。特に朝夕の出勤時間帯が混雑といい、車以外の移動手段が必要とされている。試験運行の予算2000万円は同省の「社会資本整備総合交付金」を活用した。

バスは、那覇市中心地のモノレール駅から浦添市街地を通り、同市役所をつなぐ。市は3カ月の利用状況や市民に対するアンケート結果を基に本格導入を検討する。

市は「大幅な渋滞緩和は期待できないかもしれないが、少しでもいい影響が出れば」(都市計画課)としている。(了)

(2010年12月27日/官庁速報)

・沖縄タイムス 平成22年12月20日 5頁

浦添地域バス 積極活用して
大城 一成 71歳

12月1日から約3カ月間「浦添市コミュニティバス」の実験運行が開始された。私は早速2日目に所要があつて市役所まで行き、帰りの同じ路線で帰宅した。新しい停留所が自宅から近くとても便利になったのである。もう数回利用している。

路線開設の目的が利便性向上、高齢者の社会活動の増大、公共施設や商業施設などへのアクセス性の向上となっている。都市モノレールとも連結する。素晴らしいアイデアだと思う。しかし、採算がとれないとすぐ廃止されることになっている。いかに日常に生かすかにかかっている。

路線は市役所、てだこホール、市立図書館、運動公園などを通る。沿線に近い高校が3校あり、10分程度歩く3高校とも通学に最適である。車を持たない中・高校生や高齢者の利用で安全性にも富み、料金も大人(中学生以上)200円、小人(小学生)100円。路線周辺住民が有効に利用してぜひとも本格運行に踏み込めるように期待したいものである。(浦添市)

論壇

**乗るほどに利便性拡大
浦添で社会実験バス運行**

松田 ミササ

浦添市では、公共交通機関の利便性の向上に「コミュニティバス」を軸とした取り組みを進めている。今年10月からは、市内の主要なバス路線に「コミュニティバス」が運行されている。この取り組みは、高齢者や障害者、子育て世代など、公共交通機関を利用しにくい人々の利便性を高めることを目的としている。浦添市では、この取り組みをさらに拡大するため、市内の主要なバス路線に「コミュニティバス」を運行している。この取り組みは、高齢者や障害者、子育て世代など、公共交通機関を利用しにくい人々の利便性を高めることを目的としている。

**コミュニティバス運行開始
交通の利便性向上に期待**

浦添市

浦添市では、公共交通機関の利便性の向上に「コミュニティバス」を軸とした取り組みを進めている。今年10月からは、市内の主要なバス路線に「コミュニティバス」が運行されている。この取り組みは、高齢者や障害者、子育て世代など、公共交通機関を利用しにくい人々の利便性を高めることを目的としている。浦添市では、この取り組みをさらに拡大するため、市内の主要なバス路線に「コミュニティバス」を運行している。この取り組みは、高齢者や障害者、子育て世代など、公共交通機関を利用しにくい人々の利便性を高めることを目的としている。

**浦添市巡回バス
テスト運行開始**

来月2月末まで

【浦添】高齢者や障がい者など「交通弱者」への利便性向上や、浦添市内の公共交通網が整備されていない空白地帯を解消するため、同市の「コミュニティバス」社会実験が1日から始まった。写真。同市安波茶の浦添市立図書館前と那覇市のおもろまち駅前広場を結ぶ。運行は大人、小学生以上200円、小学生100円、1歳未満は無料。1〜6歳未満は保護者1人につき1人まで無料。2人目から小学生運賃になる。運行ルート表は市役所や自治会、公共施設で配布するほか、市のホームページからダウンロードできる。

(3) 広報うらそえ

・ 1 2 月掲載



(3) 広報うらそえ 2010 年 12 月 1 日

浦添市コミュニティバス いよいよ 社会実験運行開始!!

平成 22 年 12 月 1 日 ▶ 平成 23 年 2 月 28 日



※コミュニティバスとは?
高齢化や人々の移動ニーズの多様化に対応し、高齢者等の外出促進や住居の利便性向上を
図るために、一定の地域を走行するよう運行します。

社会実験実施の目的

本市では、「公共交通機関の利便性向上」「高齢者や市民の社会活動の促進」「公共交通機関や商業施設などのアクセス向上」を目的に、浦添市モビリティと連携したコミュニティバス導入について検討を行っています。

今回、社会実験運行を実施することにより、新たなバスネットワークの可能性とその事業採算性を検証し、本格運行を見据えた運行計画について、検討することを目的としています。

コミュニティバス導入の必要性

浦添市では、幹線道路や自動車専用道路を走行する路線バスにより南北の公共交通体系が形成されているものの、幹線道路のバス運行路線沿いの居住者など利用が限られる状況となっています。その結果、市内支線道路沿線及び公共交通の空白地域における高齢者、身障者、児童などの交通制約が顕著となり、その周知・対応が課題となっています。そのため、公共交通の充実と、サービスの改善向上が求められています。



☆時刻表、詳細な運行ルートについては、浦添市役所ホームページ(<http://www.city.urasoe.lg.jp/>)をご覧ください!

☆運行バス会社((株)琉球バス交通)のサイトからは停留所名や地図、路線一覧から簡単に目的のバス時刻表が検索できます。また、走っているバスの現在位置情報も知ることができます!



バスロケーションシステム
パソコンサイト
<http://www.ryukyubuskotsu.jp/map/>

携帯サイト



運行は中型バスを予定しています。

2010 年 12 月 1 日 広報うらそえ (2)

・ 1 月掲載

本市では、市内の公共交通利用不便地域の解消や既存都市モノレールと連携を図るため、市民の日常生活に欠くことのできない公共交通機関の利便性向上に向けた施策展開が必要であると考え、その一環として平成 22 年 12 月 1 日から浦添市コミュニティバス運行社会実験を実施しています。今後、本格運行を目指していく中で皆さまのご意見を参考とするため、利用者満足度・事業可能性・事業効果などについてアンケート調査を実施します。ご協力をよろしくお願いいたします。

調査対象(市役所・西側地域) 伊祖、城間、大平、屋富祖、宮城、勢理客、内間、安波茶、仲間地域

調査対象 調査対象地域から無作為に選んだ約 2000 世帯、および 100 企業

調査内容 コミュニティバス利用実態、満足度、効果など

調査方法 1 月中旬～2 月上旬に対象世帯、企業へ調査票を送付し、記入後に郵便ポストへ投かんしていただく。

※同期間中にはコミュニティバス車内における利用者アンケートも実施しています。

コミュニティバス運行社会 実験に関するアンケート調査の ご協力について

都市計画課

0976-1234

(内線 4011)

(4) お年玉プレゼント企画

- ・浦添市コミュニティバスの利用促進を目的に、1月4日より「ゆいレール1日フリー乗車券引換券」を車中にて配布中。



引換券を集めてもらおう!!



☆引換券は1回乗車ごとに1枚進呈
☆配布は平成23年1月4日より

浦添市コミュニティバス に乗って引換券を集めると 先着**600**名様に **ゆいレール1日フリー乗車券** をプレゼント!

▶

▶

■お年玉プレゼントの概要

- ・浦添市コミュニティバスの利用促進として、ゆいレール1日フリー乗車券を引換券10枚で大人乗車券1枚、引換券5枚で小人乗車券1枚プレゼントします。
- ・引換券は、バス運賃の支払い時にバス運転手よりお受け取りください(大人200円または小人100円で1枚もらえます。)
- ・プレゼント期間中は引換券を集めて何度でも引換えていただけます。

■引換券配布期間

平成23年1月4日より ※フリー乗車券がなくなり次第、配布を終了します。

■プレゼント枚数(ゆいレール1日フリー乗車券)

大人乗車券500枚、小人乗車券100枚

■引換期間

平成23年1月4日より
※フリー乗車券がなくなり次第、引換を終了しますので事前に下記問い合わせ先へご確認のうえお越し下さい。

■引換時間

午前8時30分～午後5時15分 ※土日祝祭日はお休みです。

■引換場所

浦添市役所6階 都市計画課

■問い合わせ先

浦添市役所 都市建設部 都市計画課
TEL 876-1234 (内線4011、4012)

☆実験運行詳細は、浦添市HP
(<http://www.city.urasoe.lg.jp/>)
または車内でも紹介しています。



43